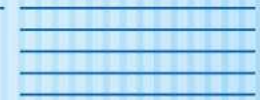


Asahi**KASEI**



旭化成の成長戦略

中期経営計画(2011~2015)

“For Tomorrow 2015”

2012年7月9日

旭化成株式会社

IR室長 門倉 清晃

証券コード:3407

目次

1. 旭化成とは	3-11
2. 中期経営計画 “For Tomorrow 2015”の全体像	12-16
3. “For Tomorrow 2015”の事業戦略	17-28
4. 進捗状況と株主還元の考え方	29-33
5. ZOLL Medical社の買収による 医療事業拡大	34-40

予想・見通しに関する注意事項: 当資料に記載されている予想・見通しは、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

1. 旭化成とは

住宅とLSIを持つ総合化学メーカー

AsahiKASEI

4つの事業領域、8つの事業会社

[事業会社]

ケミカル・繊維
事業領域

旭化成ケミカルズ

旭化成せんい

エレクトロニクス
事業領域

旭化成エレクトロニクス

旭化成イーテリアルズ

旭化成

[持株会社]

住宅・建材
事業領域

旭化成ホームズ

旭化成建材

医薬・医療
事業領域

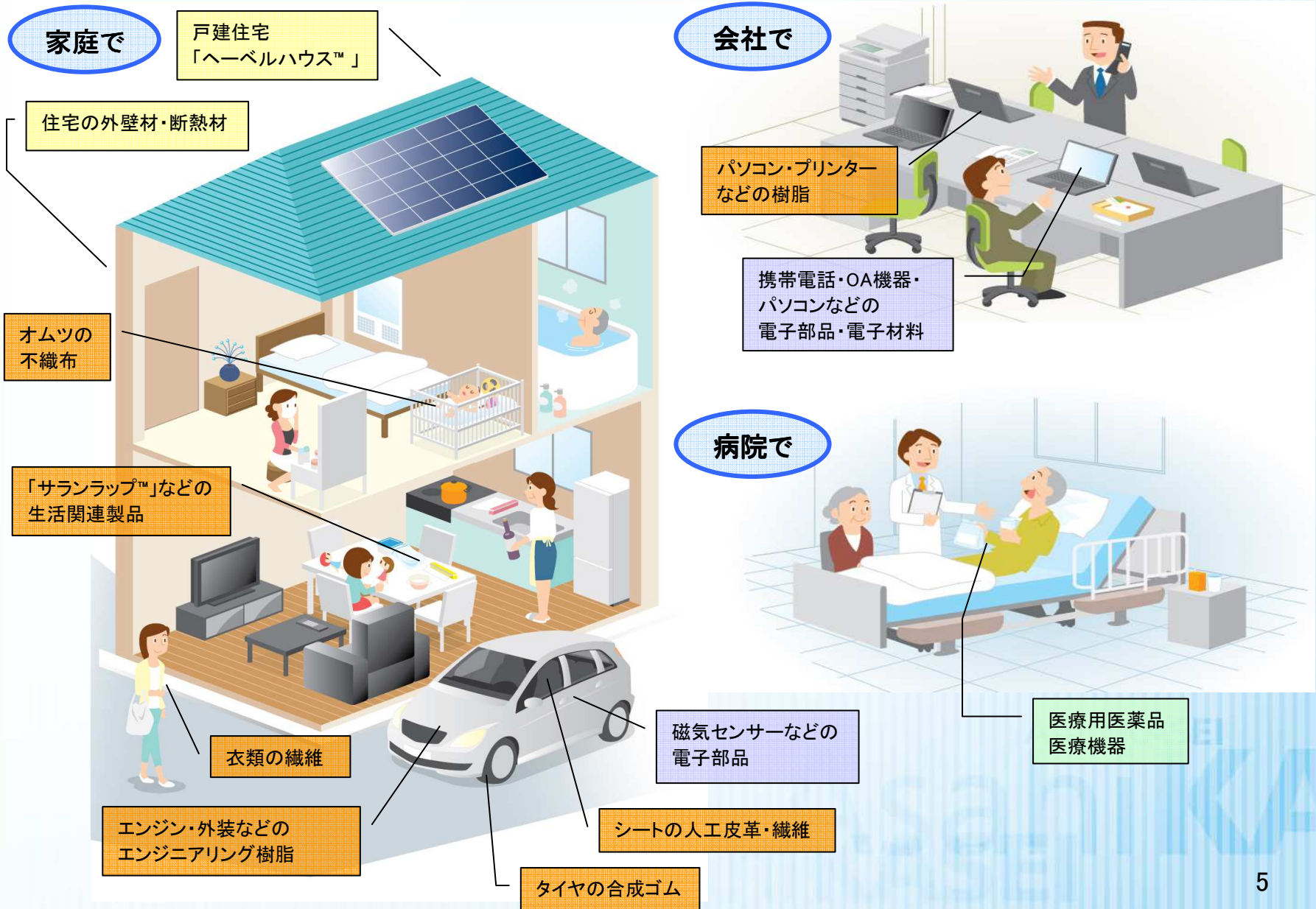
旭化成ファーマ

旭化成メディカル



くらしの中の旭化成

AsahiKASEI

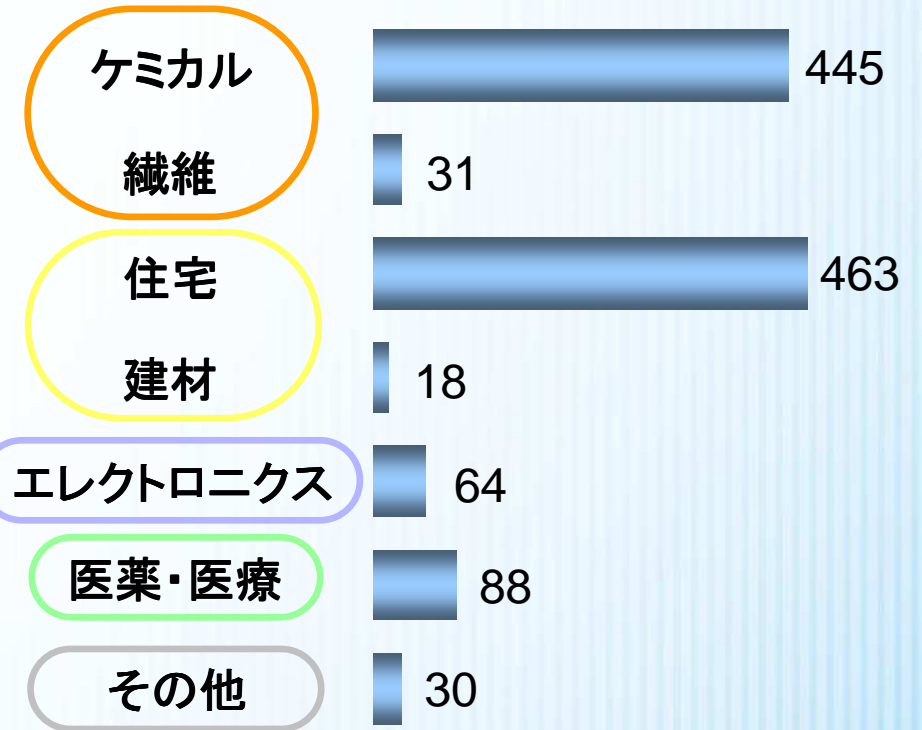
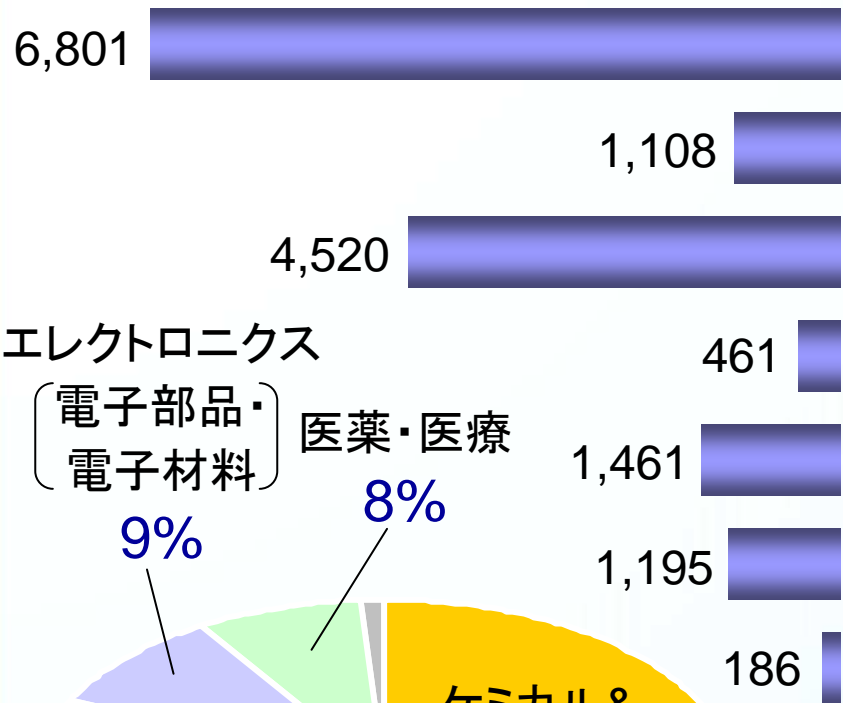


セグメント別売上高、営業利益

AsahiKASEI

連結売上高 1兆5,732億円

営業利益 1,043億円



エレクトロニクス

(電子部品・
電子材料)

医薬・医療

9%

8%

住宅&建材
32%

ケミカル&
繊維
50%

[セグメント別売上高比率]

(2011年度実績、単位:億円)

AsahiKASEI



「人類文化の向上と吾社の使命」

吾々工業家は飽までも大衆文化の向上を念として、
最善の生活資料を最低廉価に然も豊富に給する
ことを以って究局の目的としなければならぬ。

昭和8年7月 野口^{したがう}遵社長

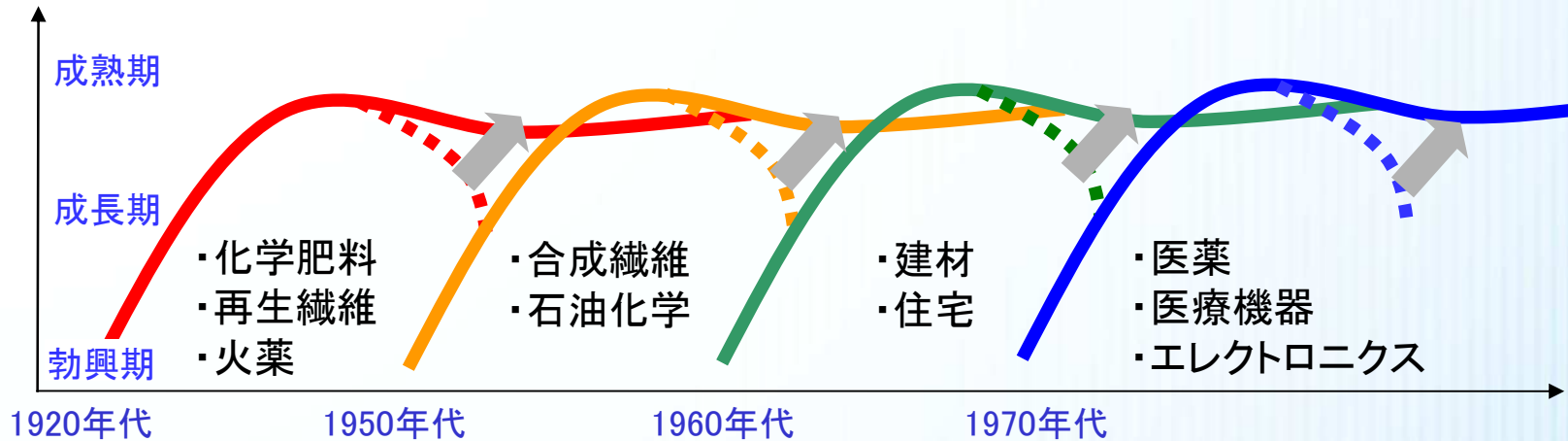


グループ理念

私たち旭化成グループは、
世界の人びとの
“いのち”と“くらし”に貢献します。

時代の要請に応える事業展開

時代の要請に対する解決策を提示しながら事業を展開



時代の要請

生活の基盤確立

生活物資の充足

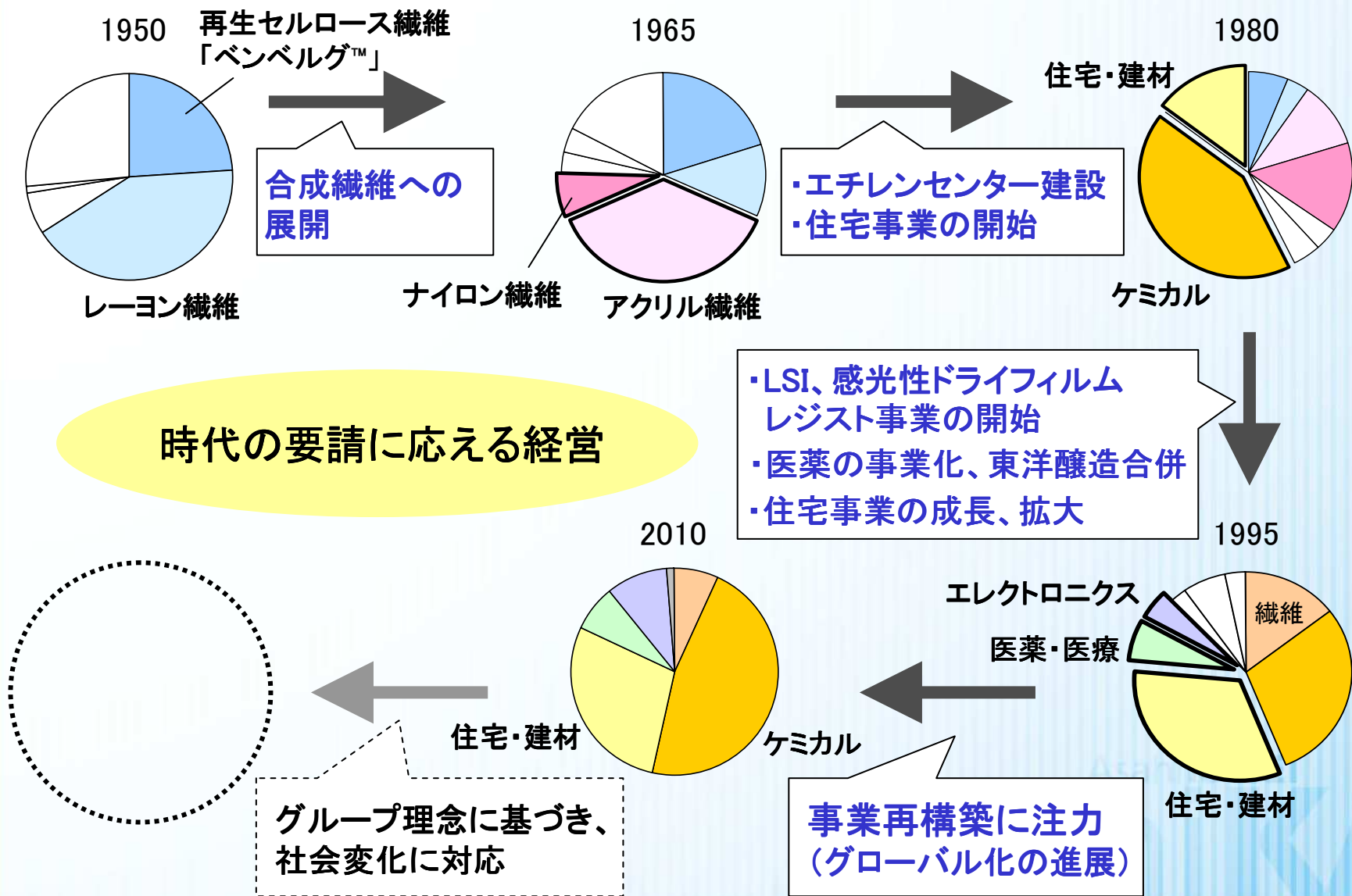
住生活の質の向上
社会資本整備

便利で快適な
生活

大量消費社会・化石燃料文明・高度成長期

大量生産・
大量消費文
明の限界

事業ポートフォリオ転換の歴史(売上構成) AsahiKASEI



グローバルな事業展開

AsahiKASEI

✓ グローバルNo.1、No.2の事業群

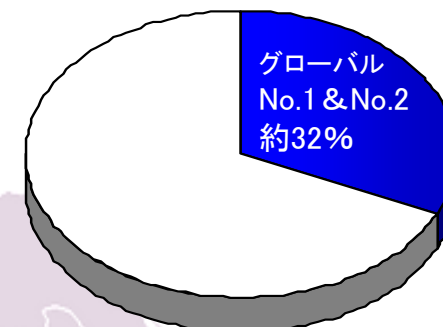
ケミカル・繊維 : アクリロニトリル(AN)、イオン交換膜、
高機能スパンデックス「ロイカ™」、
再生セルロース繊維「ベンベルグ™」

エレクトロニクス: リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」、
感光性ドライフィルムレジスト、感光性ポリイミド「パイメル™」、
ペリクル、磁気センサ、ミクスドシグナルLSI*

*オーディオ系LSI、温度補償型水晶発振器用LSI、電子コンパスなど

医療 : 人工腎臓、ウイルス除去フィルター「プラノバ™」、
白血球除去フィルター「セパセル™」

<2011年度営業利益>

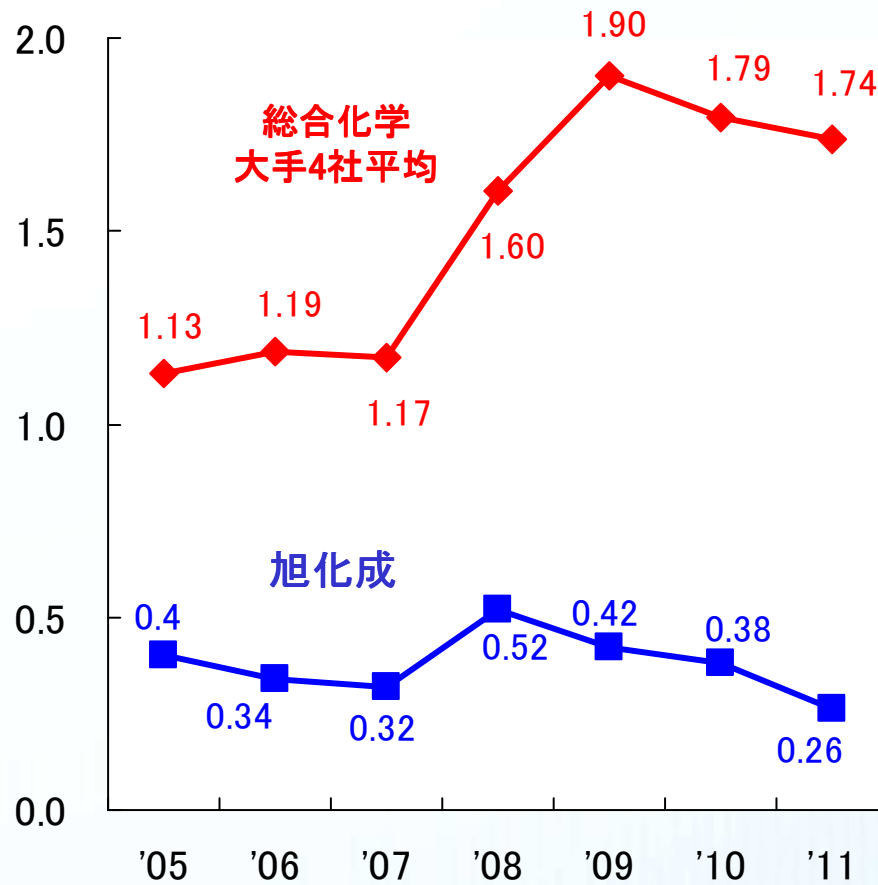


✓ 海外売上高比率 26.8% (住宅・建材を除くと 39.2%)
(2011年度実績)

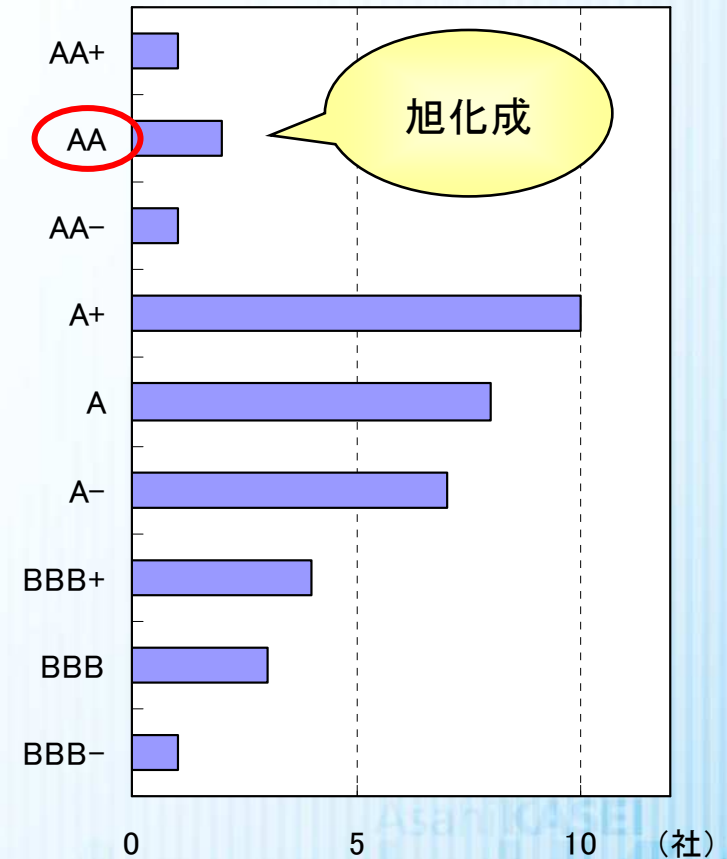
✓ 世界各地に拠点を展開 (15カ国、約60拠点)

強固な財務体質

D/Eレシオ (=有利子負債÷自己資本)



格付



日本格付研究所による化学企業の格付
(2012/6月時点)

2. 中期経営計画 “For Tomorrow 2015”の全体像

“For Tomorrow 2015”の位置付け

AsahiKASEI



Growth Action - 2010の総括

- 環境激変の影響を受け、計画の一部は未達
- 財務体質の改善により、成長分野へ大型投資できる強固な体質を確保



For Tomorrow 2015の骨子

- 原点に立ち返り、行動の軸を定め世の中に価値を提供していく
- ✓ 経営環境・トレンドを踏まえ、
- ✓ 旭化成らしいあり方で、
- ✓ 成長を追求する

理念、価値観、ビジョン(行動の原点)



✓「健康で快適な生活」、「環境との共生」の視点で、
✓グループをあげて、
昨日まで世界になかったものを提供する

【成長を追求する事業戦略】

(1) グローバルリーディング事業の展開

グローバルに競争力のある事業を積極的に展開し、新興国など世界の成長を取り込む

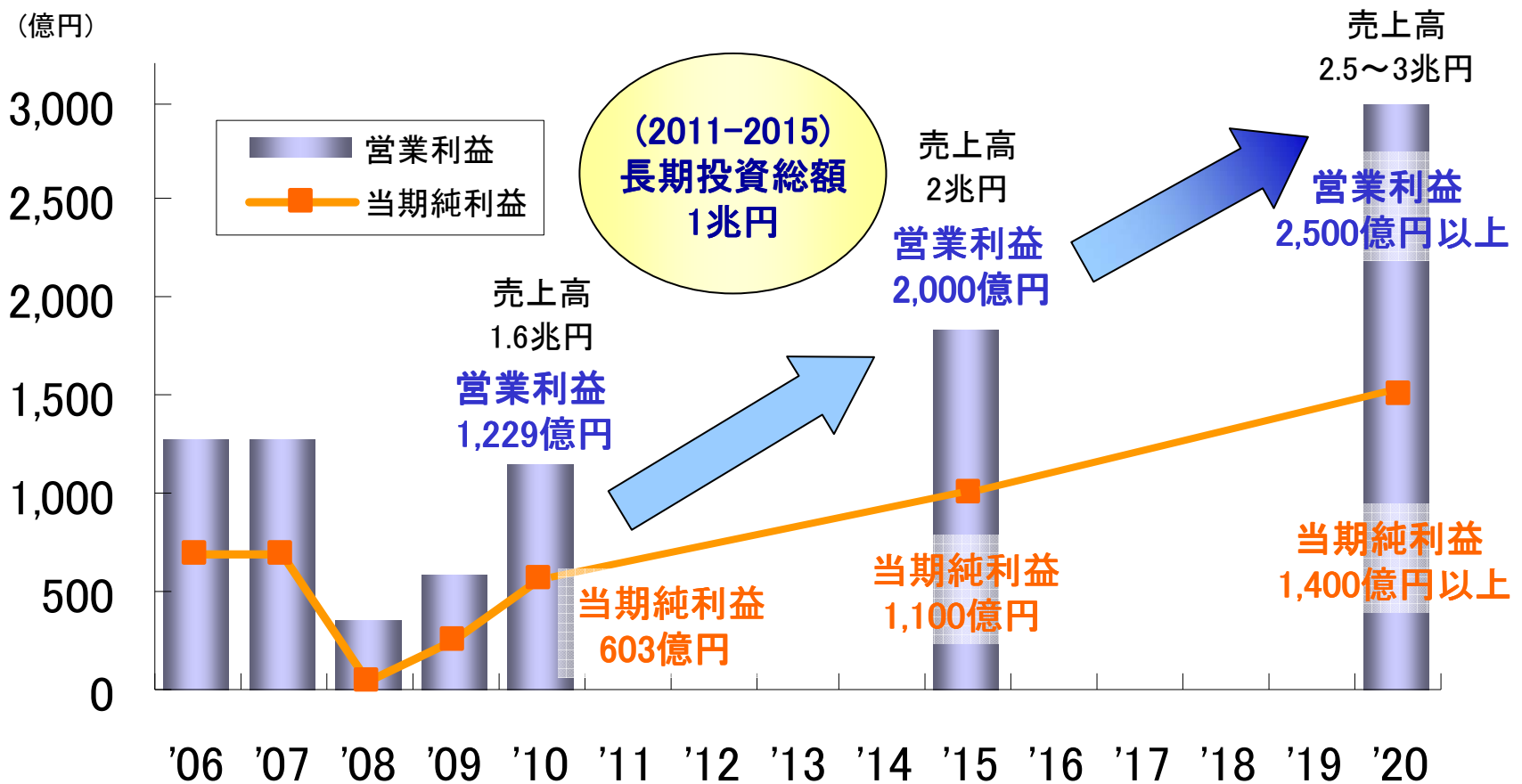
(2) 新しい社会価値の創出

「健康で快適な生活」「環境との共生」の視点での事業推進にグループ横断で取り組み、これからの社会の要請に応える

- ① 環境・エネルギー関連事業の拡大
- ② 住・くらし関連事業の拡大
- ③ 医療関連事業の拡大

目指す姿

社会の変化を先取りし、「健康で快適な生活」「環境との共生」の視点で
“昨日まで世界になかった”価値を提供し、継続的に企業価値を向上



配当性向3割を目安に、継続的な増配を目指す

3. “For Tomorrow 2015”の事業戦略

(1) グローバルリーディング事業の展開

AsahiKASEI

グローバルの成長を取り込める事業を積極展開

- ・アクリロニトリル(AN)
- ・溶液重合SBR(S-SBR)
- ・ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」
- ・リチウムイオン二次電池用 セパレータ「ハイポア™」
- ・感光性ドライフィルムレジスト
- ・ペリクル
- ・LSI
- ・人工透析事業
- ・ウイルス除去フィルター「プラノバ™」 等

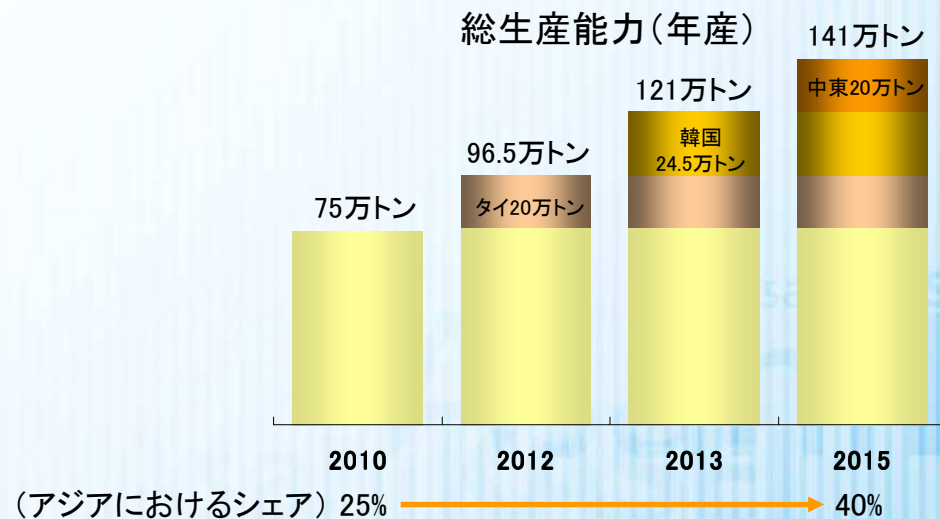


(1)グローバルリーディング事業の展開

アクリロニトリル(AN)

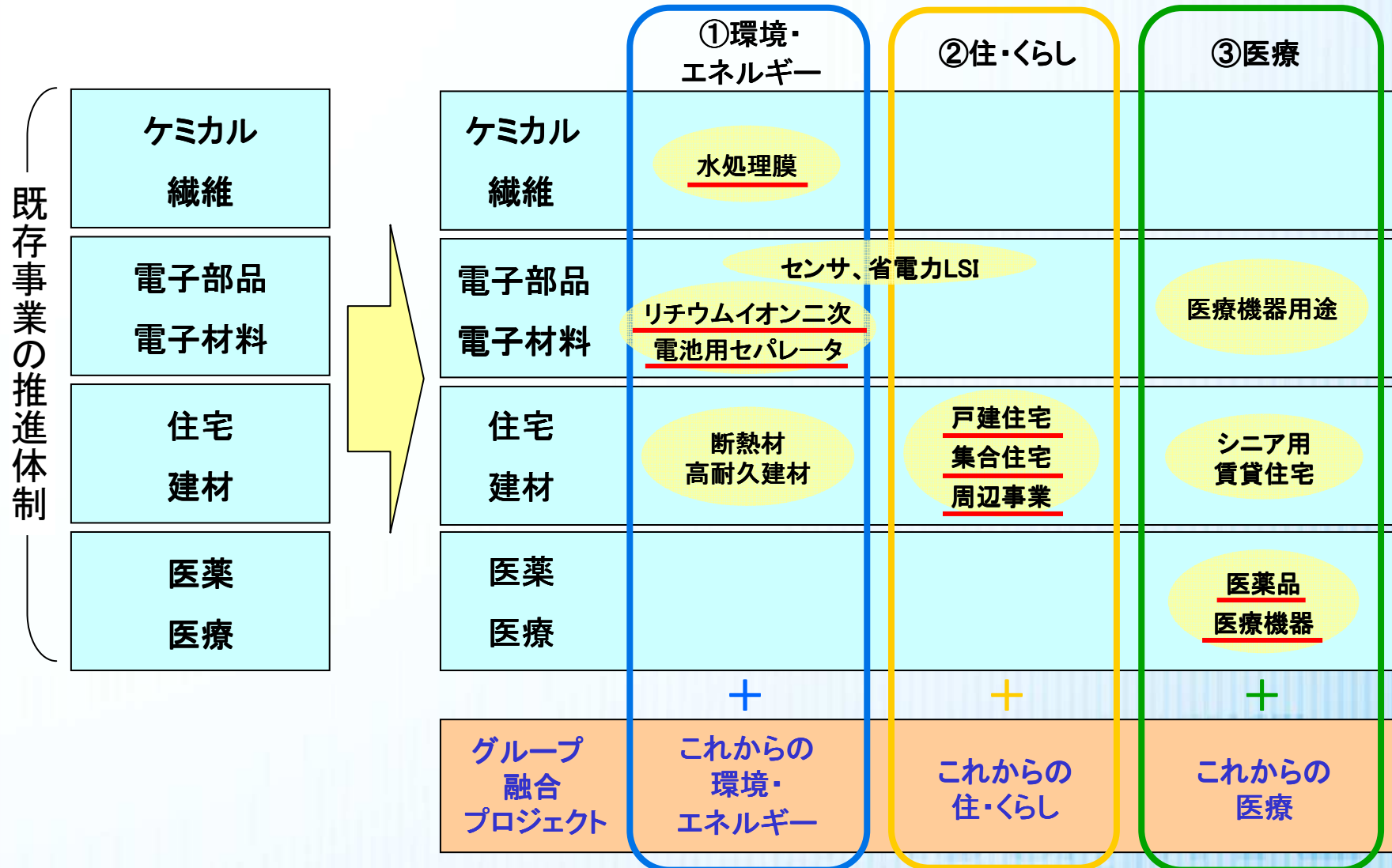
AsahiKASEI

- ✓ セーター・毛布等に用いられるアクリル繊維や、家電製品・自動車等に用いられるABS樹脂などの原料
 - ✓ 拡大するアジア市場の需要にトップサプライヤーとして対応
 - ✓ 世界No.1の技術力(触媒・プロセス)を背景に積極拡大
 - ・タイ: 世界初のプロパン法プロセス
安価な原料調達で高いコスト競争力を実現(現在工場立ち上げ中)
 - ・韓国: 年産24.5万トンの能力増強分が2013年1月稼働開始予定
 - ・中東: 事業化を検討中
- 世界No.1の地位を確立



(2) 新しい社会価値の創出

旭化成グループ横断で重点的に取り組む領域

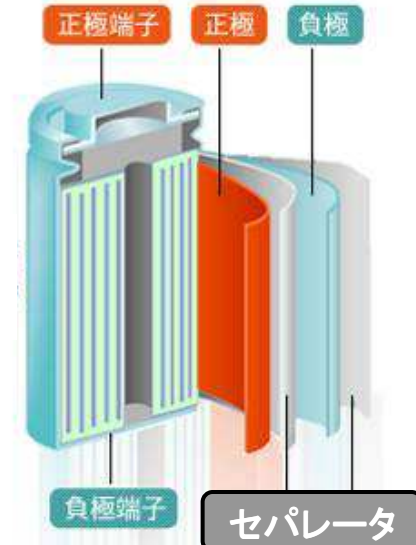
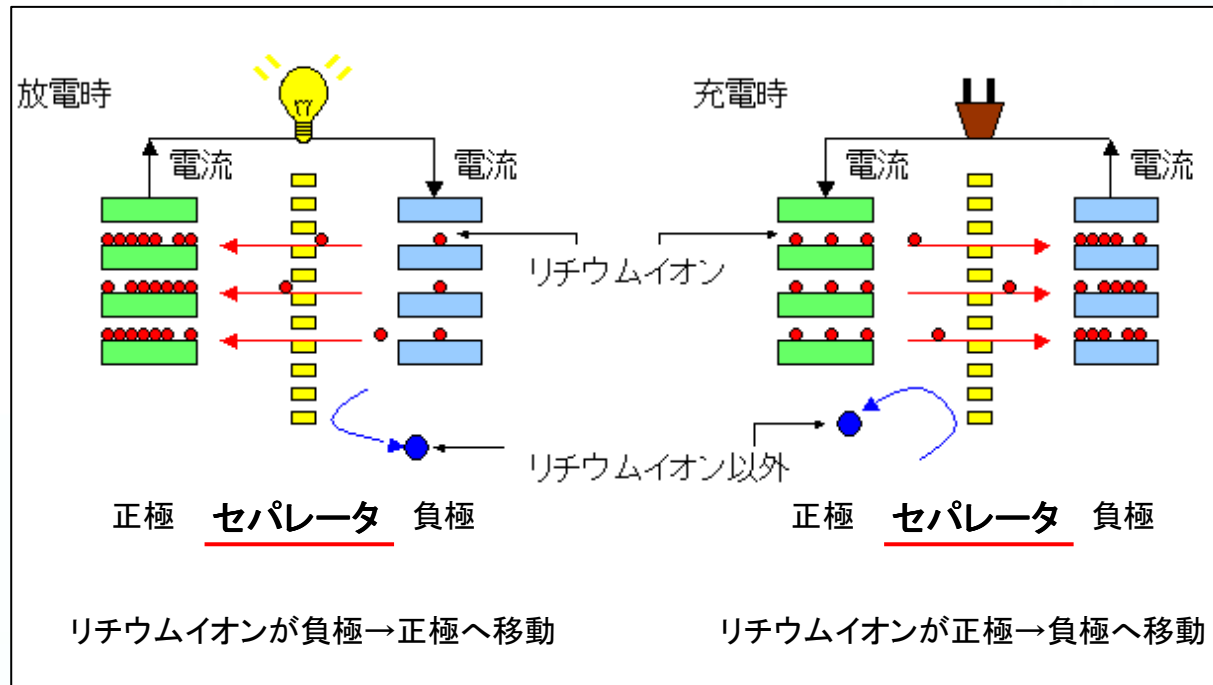


(2)新しい社会価値の創出

①環境・エネルギー関連事業の拡大:セパレータ

AsahiKASEI

リチウムイオン二次電池の仕組み



円筒型リチウムイオン
二次電池の分解図

<セパレータの役割>

- ① 正極と負極を遮断する絶縁膜
- ② 微細孔をイオンが透過し、充放電を可能とする
- ③ 過大電流が流れたとき、発熱により膜の空孔が閉じ、電流を遮断する

(2)新しい社会価値の創出

①環境・エネルギー関連事業の拡大:セパレータ

AsahiKASEI

地球環境の悪化、限界に多様な技術で取り組み、未来を切り拓く

✓ リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」

- 携帯電話やノートパソコン等のリチウムイオン二次電池向けセパレータで世界No.1、シェア50%

- ・ 高度な材料技術と加工技術
- ・ 多様なニーズに応える品揃え

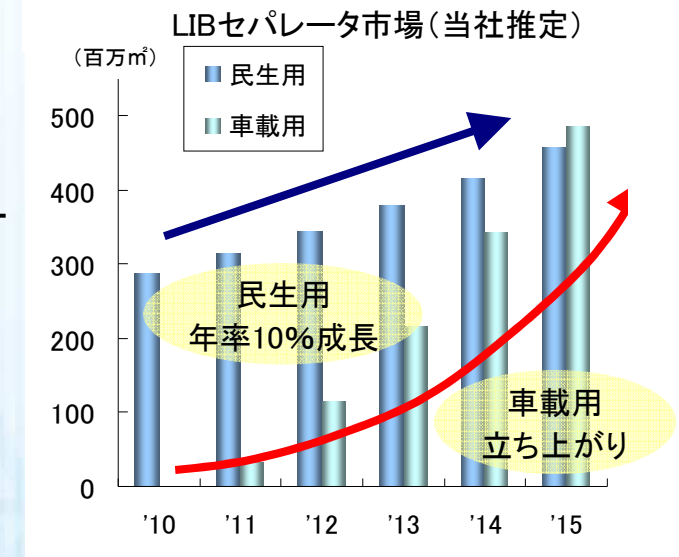
- 当社の技術力、顧客対応力を活かして、急速に立ち上がる電気自動車向け分野へ本格参入し、この分野でもシェアNo.1を狙う

- 急拡大する需要増に対応する生産能力を保有

- ・ 年産約2億m²の生産能力

- 2013年春に、年産5,000万m²の能力増強

- ・ 1系列5,000万m²の生産能力は世界最大規模

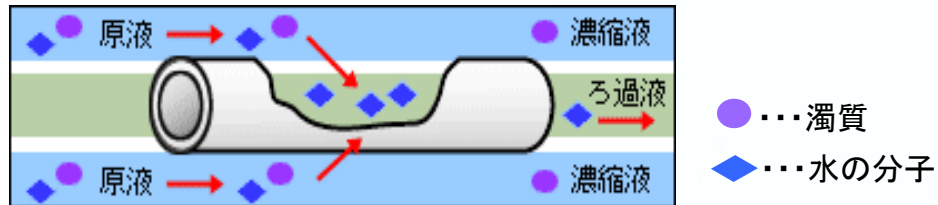


(2)新しい社会価値の創出

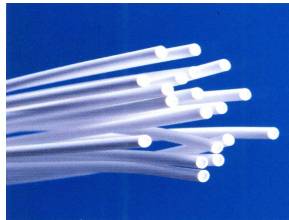
①環境・エネルギー関連事業の拡大: 水処理膜

AsahiKASEI

中空糸膜によるろ過の仕組み



(中空糸膜)



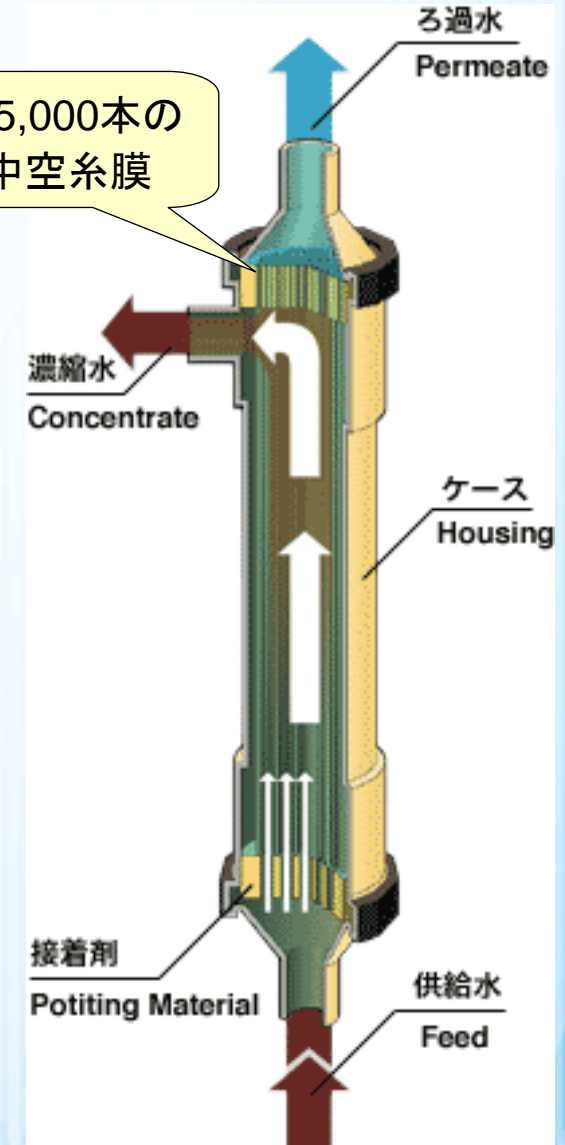
(断面)



(表面)



約5,000本の
中空糸膜



(2)新しい社会価値の創出

①環境・エネルギー関連事業の拡大:水処理膜

AsahiKASEI

地球環境の悪化、限界に多様な技術で取り組み、未来を切り拓く

- ✓ 大量水処理用ろ過膜「マイクロザ™」
 - 浄水用ろ過*で世界トップグループ、累積シェア22% *UF(限外ろ過)およびMF(精密ろ過)
 - 優れた耐久性・耐薬品性の中空糸膜
 - 北米の上水道規制強化、中国の水質汚染・水不足深刻化等で需要拡大
 - 日本、中国2拠点の生産体制(年産各3万本)
- ✓ 水処理サービス事業の開発加速
 - 中国で3件、国内で12件を受注

<膜の種類と分離対象物>



マイクロザ™の用途例:

- 上水道
 - 下水・排水回収
 - 各種工業用水精製
 - 海水淡水化前処理
- 等

②住・くらし関連事業の拡大

一人でも多くのお客様に一日でも早く、快適な生活をお届けする

✓ 都市型ロングライフ住宅「ヘーベルハウス™」

- 優れた耐震・耐火性能
- 充実したアフターサポート(60年点検システム)
- 3階建て住宅、二世帯住宅のパイオニア
- 新たなニーズに対応する住宅の提案
 - ・子育て支援住宅、省エネ・蓄電型住宅等

リフォーム・不動産事業の拡大

- 省エネ対応リフォーム等商品提案力強化
- 住民の方々と合意して建築する合意形成型マンション事業推進



③医療関連事業の拡大：骨粗しょう症治療剤

ユニークな製品と技術で活力ある健康長寿社会を作り上げる

- ✓ 骨形成促進作用を有するヒトPTH*製剤「テリボン™」(自社開発)
 - 極めて高い骨折抑制効果
 - 週一回の投与(患者負担軽減)
 - 2011年11月国内発売、好調な立ち上がり
 - ・2012年度売上高予想141億円
 - 骨粗しょう症国内患者1,100万人以上(潜在患者含む)
 - ・骨折→寝たきり(社会問題)への対応
 - パッチ剤の開発で、より患者様に優しい薬へ

* 副甲状腺ホルモン



アプリケーター

パッチ

③医療関連事業の拡大：医療機器

ユニークな製品と技術で活力ある健康長寿社会を作り上げる

✓ 透析事業の拡大

- 中空糸膜人工腎臓で国内No.1、シェア40%、世界2位グループ、シェア20%弱、70カ国以上で使用
- 世界的な透析患者の増加に対応し能力増強
 - ・日本と中国に生産拠点、年産3,400万束
 - ・海外での能力増強、販売会社設立を更に推進
- 事業提携等による戦略的な事業拡大
 - ・ネクステージメディカル社(米)との戦略的提携強化(12年5月)
 - ・医療機器メーカー(株)メテクの100%子会社化(10年10月)
- パッケージ提供体制を構築、透析医療システムの世界No.1へ



(2)新しい社会価値の創出

「これからプロジェクト」の主な進捗状況

AsahiKASEI

これからの環境・エネルギー

- ✓ リチウムイオンキャパシタ(LIC)(FDK(株)との合併)
 - 電力の高効率利用を可能にする次世代の蓄電デバイスを共同事業化、旭化成FDKエナジーデバイス(株)を設立
- ✓ 窒化アルミニウムを用いたLED設計(クリスタルIS社の買収)
 - 紫外線LEDによる殺菌デバイスを始めとする新たな可能性の獲得



リチウムイオンキャパシタ

これからの住・暮らし

- ✓ 社会の変化を先取りした製品や技術をグループ内外から取り込み、新たな視点で住まい方を創出するモデルハウスを富士の研究所内に建設



これからの医療

- ✓ 細胞プロセッシング装置の開発(テラ(株)との共同研究開発)
 - 旭化成の膜分離、バイオプロセス技術とテラ(株)の樹状細胞ワクチン療法技術で、「がん免疫療法」の本格的普及を目指す
- ✓ **クリティカルケア(救命救急医療)分野への展開**
(ZOLL Medical社の買収)

4. 進捗状況と株主還元の方

2011年度業績および2012年度業績予想

AsahiKASEI

(億円)

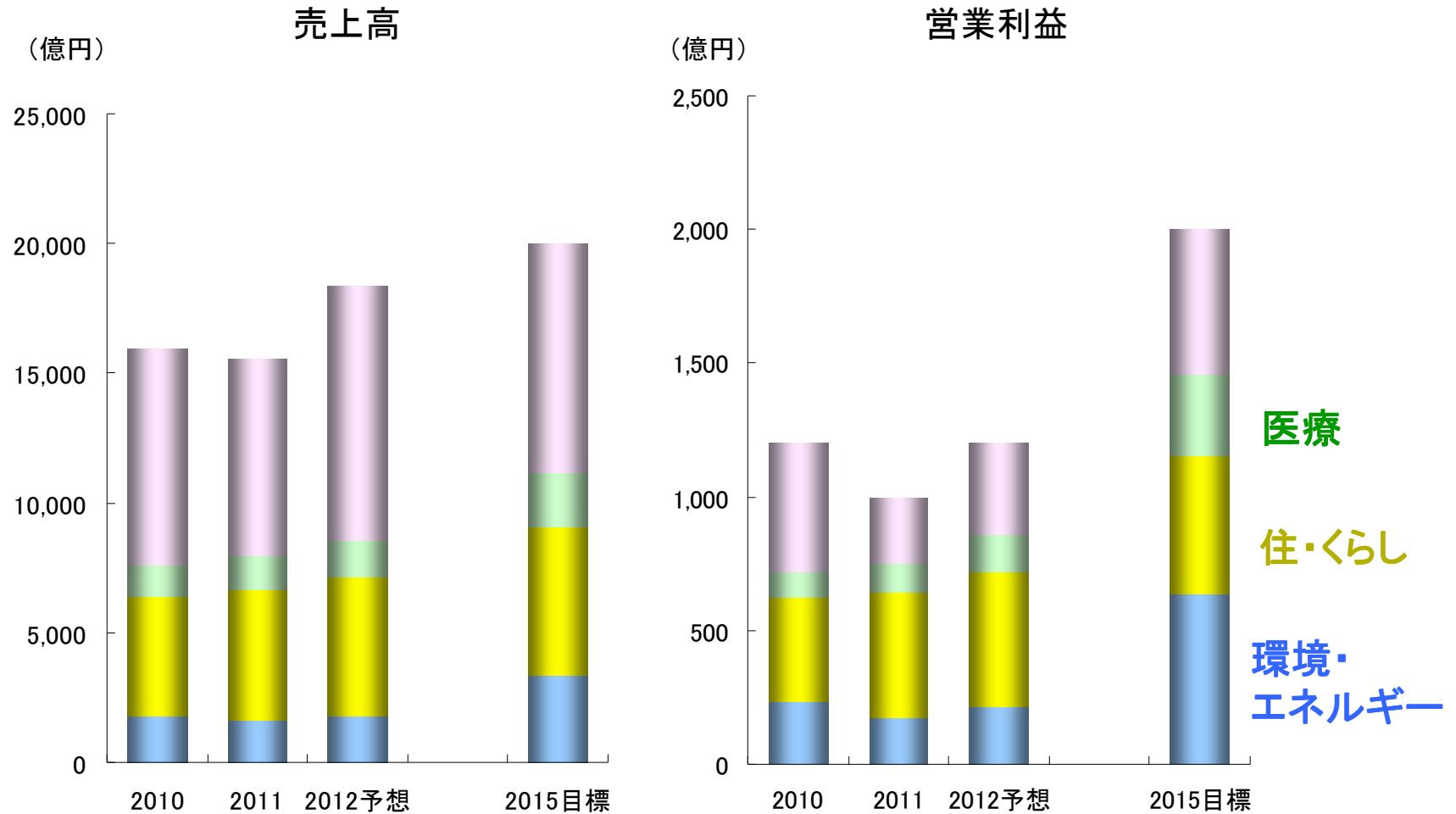
	10年度	11年度			12年度(予想)			増減 b-a
		上	下	計a	上	下	計b	
売上高*1	15,559	7,844	7,888	15,732	8,470	9,340	17,810	2,078
営業利益	1,229	638	405	1,043	450	670	1,120	77
経常利益	1,182	621	454	1,076	460	690	1,150	74
当期純利益	603	382	176	558	255	410	665	107

*1 今回よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡って売上高から同取引相当額を控除している。(ナフサ転売の取引額:2010年度 424億円、2011年度 397億円)

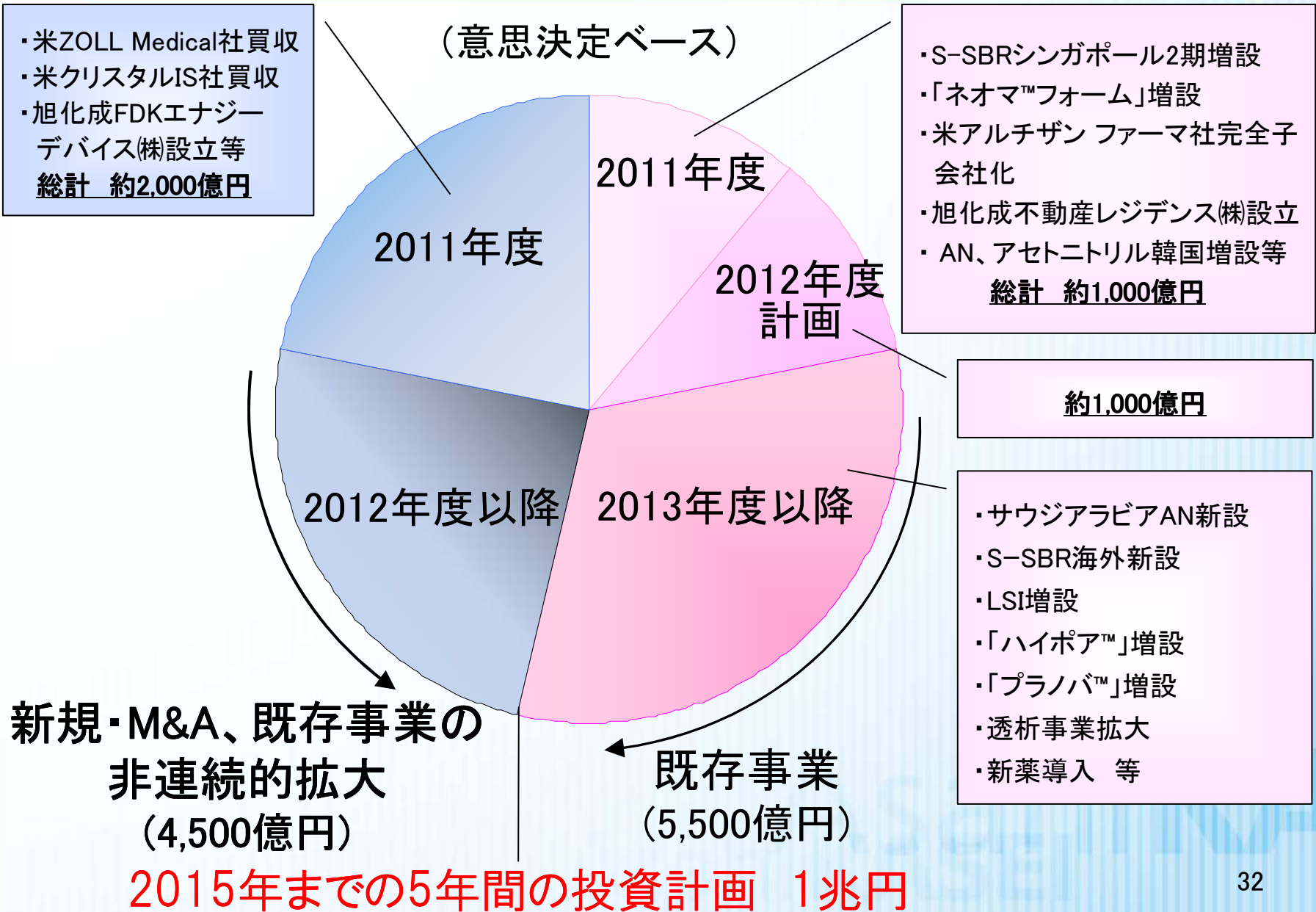
ナフサ価格(国産ナフサ¥/kl)	47,475	56,950	52,900	54,925	62,000	62,000	62,000	7,075
為替レート(相場平均¥/\$)	86	80	78	79	80	80	80	1

	10年度	11年度	12年度
1株当たり年間配当金	11円	14円	14円 (予定)
配当性向	25.5%	35.1%	29.4%

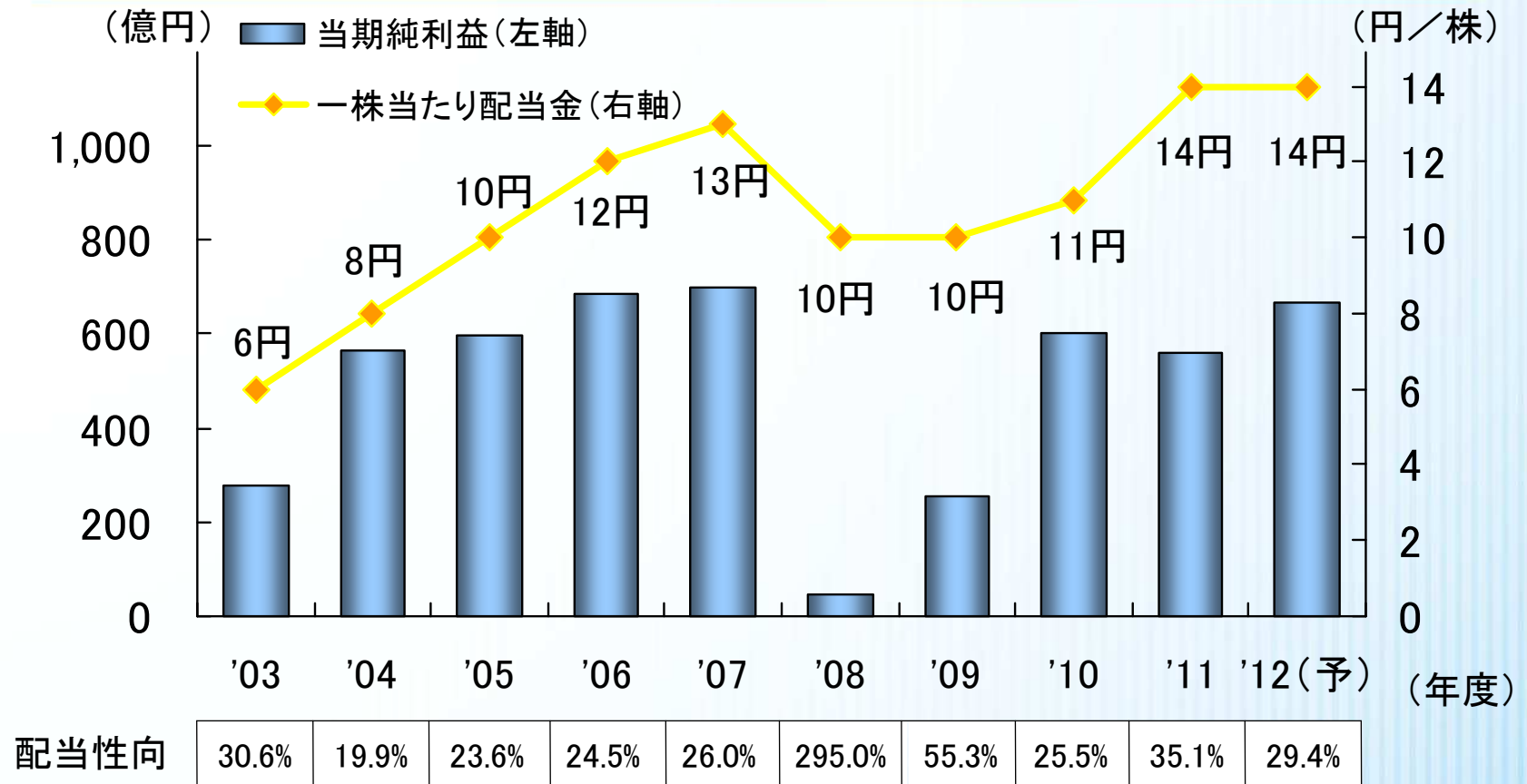
「新しい社会価値の創出」の計数面での進捗 AsahiKASEI



投資の進捗



配当性向3割を目安とした配当



社会の変化を先取りし、「健康で快適な生活」「環境との共生」の視点で
 “昨日まで世界になかった”価値を提供し、継続的に企業価値を向上

→配当性向3割を目安に、継続的な増配を目指す

5. ZOLL Medical社の買収による 医療事業拡大

クリティカルケア(救命救急医療)への 本格参入の狙い

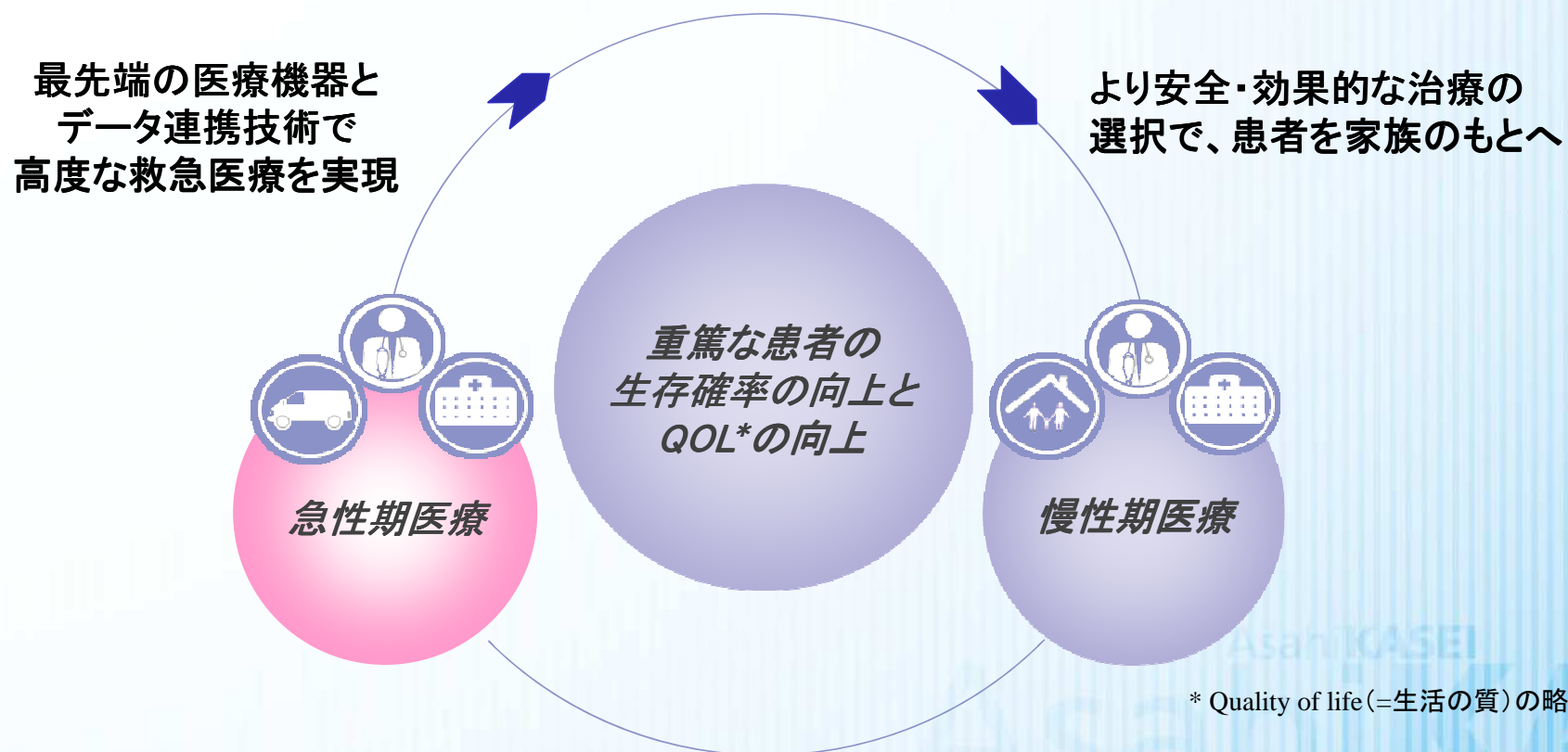
AsahiKASEI

「新しい社会価値の創出」の
ためのグループ融合プロジェクト

(i) これからの環境・エネルギープロジェクト

(ii) これからの住・暮らしプロジェクト

(iii) これからの医療プロジェクト



グローバルに最先端医療提供の可能性を向上

ZOLL Medical社の概要

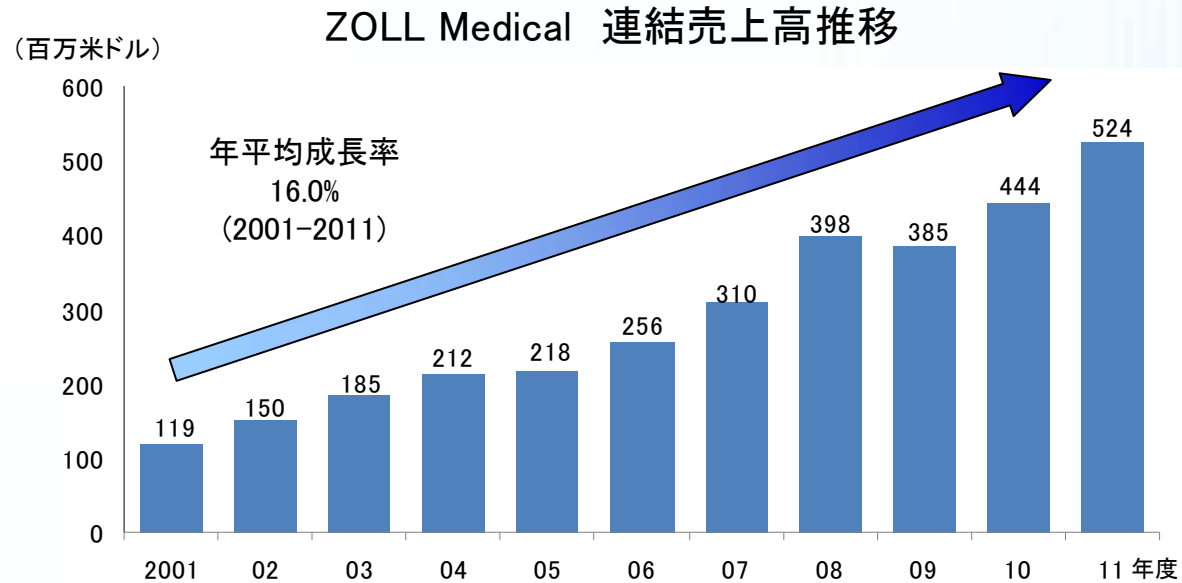
AsahiKASEI

ZOLL[®]

会社名	ZOLL Medical Corporation (ゾール・メディカル NASDAQ:ZOLL 以下、ZOLL)
設立	1980年
拠点	本社: マサチューセッツ州チェルムスフォード 拠点: ピッツバーグ、サニーベール、ブルームフィールドなど
CEO	Richard A. Packer
事業概要	生命蘇生技術をコアテクノロジーとする、救命救急領域にフォーカスした医療機器メーカー
従業員数	1,908人(2011年10月2日現在)
当社との関わり	<ul style="list-style-type: none">・当社とZOLLは事業提携し、2011年8月より最新型AED(自動体外式除細動器)「ZOLL AED Plus™」の日本での販売を開始・その後、両社マネジメント間で交流を深め、旭化成の経営戦略に合致すると判断、今回の買収に至る

ZOLL Medical社の主な事業

AsahiKASEI



ZOLLの製品群



医療機関・
救急機関向け
除細動器

プロ市場で
高い定評
北米で40%
シェア



LifeVest
着用式除細動器

世界唯一の
革新的
医療機器



AED
自動体外式
除細動器



Thermogard
体温マネージメント
機器

血管内冷却法
で強固な地位



AutoPulse™
自動心肺蘇生
システム



RescueNet
救急機関向け
IT基幹システム

米国
最大手

ZOLL Medical社と一体となった事業展開

AsahiKASEI

ZOLL

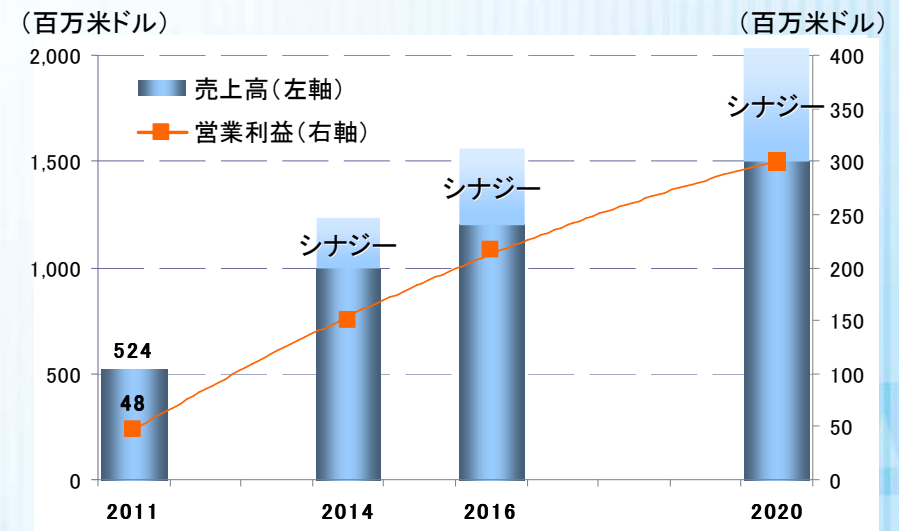
- ・世界の医療市場に圧倒的な影響力を持つ
アメリカで高い評価とブランド
- ・世界的権威であるFDA(米国食品医薬品局)
からの認証取得の豊富な経験
- ・クリティカルケア分野での幅広い製品ポート
フォリオと製品化実績

AsahiKASEI

- ・既存の医薬・医療事業で得たマーケティング、
製品開発力
- ・日本の薬事等法令や医療保険制度への対応力
- ・アジアのマーケット情報
- ・拡大投資・資源投入力
- ・マネジメントサポート

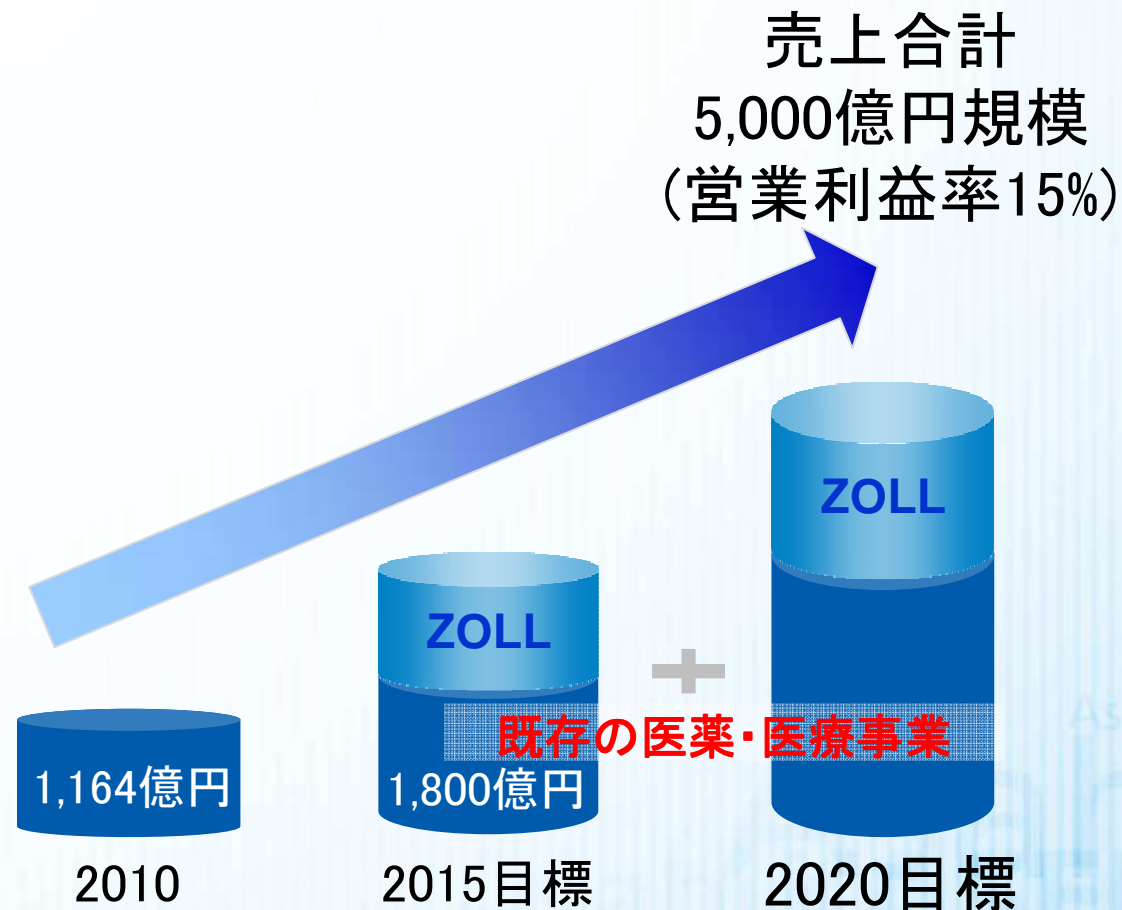
クリティカルケア事業の展開加速

- ・蘇生関連事業で世界No.1へ
- ・新製品上市
- ・米国以外へもシェア拡大し
グローバルリーディング事業へ



既存の医薬・医療事業にクリティカルケア事業を付加

医薬・医療事業 売上高



昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、
より豊かな“くらし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、
次の時代へ大胆に応えていくために――。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

参考資料

株式関連情報

AsahiKASEI



発行済み株式総数
1,402,616,332株

単元株式数
1,000株

1株当たり当期純利益 (EPS)	39.89円
1株当たり年間配当金	14円
配当性向	35.1%
1株当たり純資産 (BPS)	505.72円

(2011年度実績ベース)

連結貸借対照表(要旨)

AsahiKASEI

(億円)

	11/3月末	12/3月末	増減		11/3月末	12/3月末	増減
流動資産	7,557	7,218	-339	負債 ^{*1}	7,503	6,913	-590
現金及び預金	1,403	1,029	-374	流動負債	4,838	4,496	-342
受取手形及び売掛金	2,734	2,661	-74	固定負債	2,665	2,417	-248
棚卸資産	2,562	2,792	230	純資産	6,756	7,193	437
その他	857	736	-120	株主資本	6,594	6,968	374
固定資産	6,702	6,888	186	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,184	4,161	-22	資本剰余金	794	794	0
無形固定資産	311	452	141	利益剰余金	4,787	5,164	377
投資その他の資産	2,208	2,275	67	自己株式	-21	-24	-3
				その他の包括利益累計額	42	100	58
				少数株主持分	120	124	4
資産合計	14,259	14,106	-153	負債純資産合計	14,259	14,106	-153

*1 従来流動負債に含めて表示していた「固定資産撤去費用引当金」を、今回より「流動負債」と「固定負債」に区分して表示している。(前期末より影響額を組替えて表示)

連結損益計算書(要旨)

AsahiKASEI

(上段:百分率、% 下段:金額、億円)

	10年度	11年度	増減	増減率
売上高*1	100.0% 15,559	100.0% 15,732	173	1.1 %
売上原価*1	74.0% 11,512	74.9% 11,790	278	2.4 %
売上総利益	26.0% 4,047	25.1% 3,943	-105	-2.6 %
販管費	18.1% 2,818	18.4% 2,900	82	2.9 %
営業利益	7.9% 1,229	6.6% 1,043	-187	-15.2 %
営業外損益				
(内、金融収支)	(0)	(14)	(14)	
(内、持分法投資利益)	(22)	(7)	(-15)	
(内、為替差損)	(-39)	(-2)	(37)	
(内、固定資産撤去費用 引当金戻入額)	(-)	(22)	(22)	
経常利益	7.6% 1,182	6.8% 1,076	-107	-9.0 %
特別損益	-199	-127	72	
税前利益	6.3% 983	6.0% 949	-35	-3.5 %
法人税等	-367	-380	-13	
少数株主損益	-14	-11	3	
当期純利益	3.9% 603	3.5% 558	-45	-7.5 %

*1 今回よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡って売上高及び売上原価から同取引相当額を控除している。
(ナフサ転売の取引額:2010年度 424億円、2011年度 397億円)

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

AsahiKASEI

(億円)

	10年度	11年度
営業活動によるキャッシュ・フロー①	1,481	1,413
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-788	-895
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	693	518
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-261	-910
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	-27	-8
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	404	-401
現金及び現金同等物の期首残高⑦	931	1,344
非連結子会社の連結化に伴う増加額⑧	9	15
関係会社の報告機関変更に伴う増加額⑨	-	5
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧+⑨)	1,344	964

セグメント別売上高

AsahiKASEI

(億円)

	11年度			12年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカル	3,601	3,200	6,801	3,850	3,970	7,820	1,019
住宅	2,000	2,520	4,520	2,130	2,690	4,820	300
医薬・医療	600	595	1,195	620	690	1,310	115
繊維	561	547	1,108	550	570	1,120	12
エレクトロニクス	775	686	1,461	740	780	1,520	59
建材	222	239	461	260	270	530	69
クリティカルケア ^{*2}	-	-	-	230	260	490	490
その他	85	101	186	90	110	200	14
合 計	7,844	7,888	15,732	8,470	9,340	17,810	2,078

*1 今回よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡ってケミカルの売上高から同取引相当額を控除している。(ナフサ転売の取引額:2011年度 397億円)

*2 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ゾール・メディカル社の業績等については同セグメントにて開示する。

セグメント別営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	11年度			12年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカル	341	104	445	220	240	460	15
住宅	179	284	463	180	320	500	37
医薬・医療	56	32	88	45	80	125	37
繊維	21	10	31	20	25	45	14
エレクトロニクス	70	-6	64	35	70	105	41
建材	8	11	18	15	15	30	12
クリティカルケア ^{*1}	-	-	-	-15	-25	-40	-40
その他	12	18	30	10	10	20	-10
消去又は全社	-50	-48	-97	-60	-65	-125	-28
合 計	638	405	1,043	450	670	1,120	77

*1 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ゾール・メディカル社の業績等については同セグメントにて開示する。

新中期経営計画の事業領域別計数計画

AsahiKASEI

(億円)

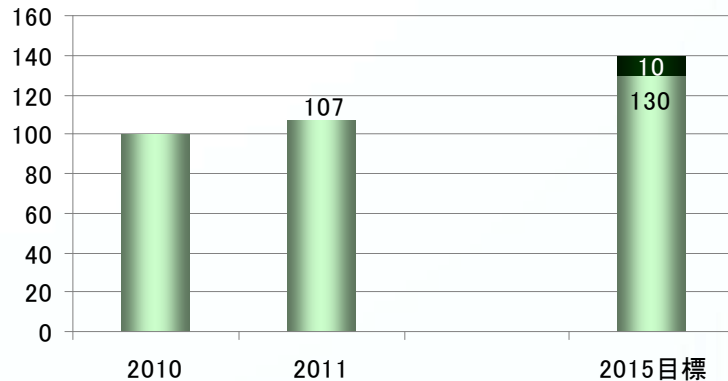
	売上高				営業利益				営業利益 構成割合	
	2010	2011	2015	対2010	2010	2011	2015	対2010	'10	'15
ケミカル・繊維	8,086	7,909	8,800	+714	686	476	750	+64	56%	38%
住宅・建材	4,566	4,981	5,700	+1,134	386	481	500	+114	31%	25%
エレクトロニクス	1,583	1,461	2,500	+917	143	64	400	+257	12%	20%
医薬・医療	1,164	1,195	1,800	+636	70	88	250	+180	6%	13%
その他・調整	160	186	200	+40	-55	-67	-50	+5	-4%	-3%
小計	15,559	15,732	19,000	+3,440	1,229	1,043	1,850	+621		
これからプロジェクト			1,000	+1,000			150	+150		8%
					(2020年) 約3,000				(2020年) 約500	
合計	15,559	15,732	20,000	+4,440	1,229	1,043	2,000	+771		

グループ理念実現の定量指標

健康で快適な生活

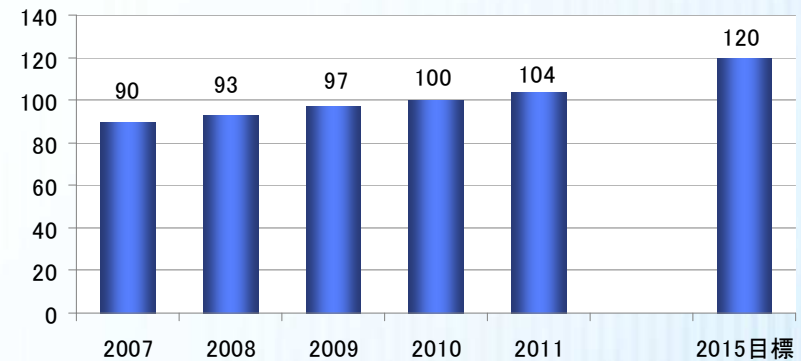
医療・医薬貢献人数(指数)

- 2015年目標:2010年比30%増の皆様当社医薬・医療機器を提供
- ZOLL Medical社の買収により目標を40%増へ上方修正



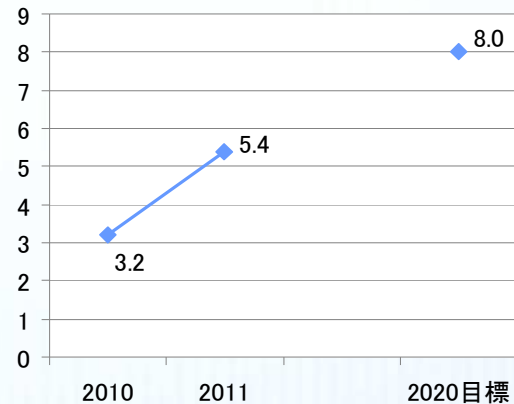
「ヘーベルハウス™」居住者数(指数)

- 2015年目標:2010年比20%増の皆様当社住宅を提供



環境との共生

LCA・CO₂削減量*/当社CO₂排出量



- 目標:2020年までに2010年の3.2から8.0に改善
- 2011年実績は5.4で、目標に向けて順調に進捗

*原材料、製造から廃棄まで、製品のライフサイクルすべてにおけるCO₂削減量

CSRの取り組み

- ✓ コンプライアンスの徹底
 - 企業倫理に関する方針・行動基準の制定
- ✓ レスポンジブル・ケアの推進
 - 環境配慮評価*で最高評価の「AAA」(トリプルエー)を取得(2010年12月)
先進的な環境配慮経営を行う企業として、優遇金利で(株)三井住友銀行が融資
 - * (株)日本総合研究所(三井住友フィナンシャルグループ)独自の評価基準に基づく、企業の環境配慮状況の評価
- ✓ 社員の個の尊重
 - ワークライフバランスの推進
厚生労働省より次世代育成支援に積極的な企業として、次世代認定マーク「くるみん」を取得(旭化成(株)他)(2007年、2010年)
 - につけい子育て支援大賞受賞(2009年12月)
男性社員の育児休業取得促進を評価
(配偶者が出産した男性社員の40%が育児休業制度を利用)
- ✓ 社会との共生
 - 第59回日経広告賞コーポレートブランド広告賞優秀賞(2010年)
 - 出前授業(講師派遣事業)の展開
小・中学生に科学技術への関心と理解を深めてもらうために実施



ケミカルの主な製品

基礎・モノマー系		ポリマー・エラストマー系		高付加価値系	
基礎原料	苛性ソーダ・塩素	汎用 ポリマー	ポリエチレン	膜	マイクロザ™(大量水処理用ろ過膜(MF、UF))
	硝酸		ABS・AS樹脂		イオン交換膜及び装置
モノマー	アクリロニトリル(AN)	機能樹脂・ コンパウンド	MMAペレット・シート	機能化学品	デュラネート™(HDI系ポリイソシアネート)
	スチレンモノマー(SM)		合成ゴム・エラストマー		アルミペースト
	MMAモノマー		テナック™(ポリアセタール樹脂)	SBラテックス	
	シクロヘキサノール		ザイロン™(変性PPE樹脂)	添加剤	セオラス™(結晶セルロース)
	アジピン酸		レオナ™(ナイロン66樹脂)	火薬	火薬・金属加工
消費材					サランラップ™(食品包装用ラップ)
					パッケージング材料
売上高 構成比	75%			売上高 構成比	25%

* 売上高構成比は2011年度実績をベースに計算。

ケミカルの汎用製品

2012.3.31現在

	旭化成ケミカルズ		同業大手			当社の主要用途	当社のポジション
	生産能力 (kt/y)	シェア (%)	社名	生産能力 (kt/y)	シェア (%)		
AN	965	15	Ineos	1,344	21	アクリル繊維、ABS、自家消費(ABS、アジポニトリル)	世界No.2メーカー 2013年1月、韓国で245kt/y 増設後はシェア19%
SM	710	2	Sinopec Group	4,021	13	発泡PS、ABS、SBラテックス、不飽和ポリエステル、SBR、自家消費(PS、ABS、SBラテックス、SBR)	国内生産能力No.1
			Styrolution	3,652	11		
			Shell	2,720	8		
MMA モノマー	100	3	三菱レイヨン	1,356	36	MS、MBS、塗料、 自家消費(MMAポリマー)	現ポジションは高くないが、 自社技術でコスト競争力ある直 メタプロセスを採用
アジピン酸	170	5	INVISTA	640	20	ウレタン、自家消費(ナイロン66)	アジアトップグループ
			Rhodia	515	16		

(注1)シェアおよび同業大手生産能力は推定ベース

(注2)シェアは生産能力シェア

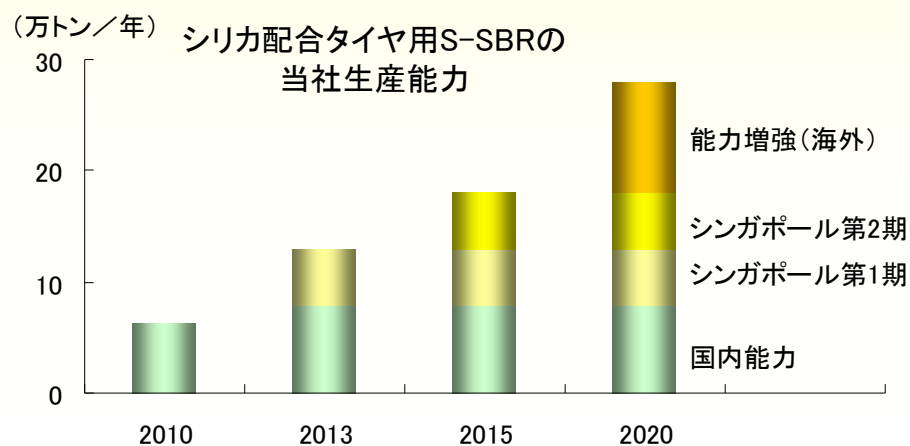
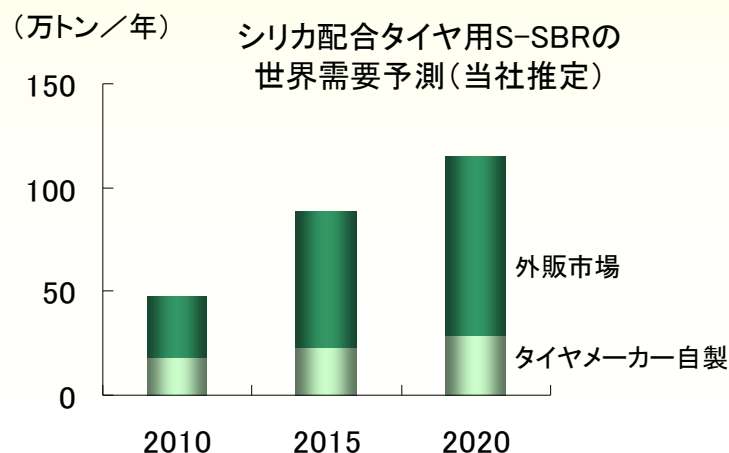
ケミカルの高付加価値系事業

分野	製品	業界ポジション
膜	マイクロザ™(大量水処理用ろ過膜(MF、UF))	世界トップグループ 22%シェア
	イオン交換膜(食塩電解)	世界No.1 45%シェア
	イオン交換膜法食塩電解プラント	世界No.1 30%シェア (累積ベース)
機能化学品	デュラネート™(HDI系ポリイソシアネート)	国内No.1
	アルミペースト	国内No.2
	アクリルラテックス、サランラテックス	サランラテックス: 世界No.2 20%シェア
添加剤	セオラス™(結晶セルロース)	国内No.1 世界No.3

合成ゴム：溶液重合SBR(S-SBR)

- ✓エコタイヤ(シリカ配合タイヤ)用*S-SBRでアジアNo.1
- ✓相反する「省燃費性能」(転がり性能)と「グリップ性能」(安全性)の両立を実現させる、バランスの良い連続重合法S-SBRを提供
- ✓先進国をはじめ、各国で広がりつつあるタイヤに対する環境規制の強化により、今後エコタイヤ向けSBRの需要は大幅に拡大
- ✓需要の伸びに応じ、海外を中心に大きく能力を増強(シンガポールで2013年に5万トン/年新設、2015年に5万トン/年増設)

*タイヤのトレッド(接地面)などに使用される。



繊維の主な製品

- ✓ 高機能スパンデックス「ロイカ™」
 - 世界No.3、高機能・高品質ブランドをグローバルに展開
(生産拠点: 日本、台湾、中国、タイ、独国、米国)
- ✓ 再生セルロース繊維「ベンベルグ™」(キュプラ)
 - 世界唯一のメーカー
 - 国内裏地用途から他用途・海外向けに展開、拡大
- ✓ 多様な品揃えを持つ不織布
 - ナイロン・ポリエステル・ポリプロピレン・キュプラの
4素材を展開
 - タイ工場新設(2012年9月予定)による衛生材料用途拡大
- ✓ 強度・耐熱性に優れたナイロン66繊維「レオナ™」
 - タイヤコード用途に加え、エアバッグ用途を拡大



建材の主な製品

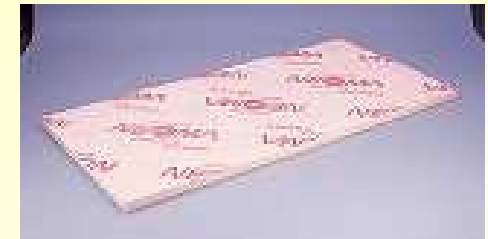
✓ 軽量気泡コンクリート「ヘーベル™」

- ALC(軽量気泡コンクリート)国内No.1
- 耐火性、断熱性に優れ、軽量かつ高耐久の建材



✓ 断熱材「ネオマ™フォーム」、「Jupii™」

- 世界トップレベルの高い断熱性能を長期間維持
- 環境にやさしいゼロフロン断熱材
- 炎をあてても燃え広がらず炭化するだけの高い耐燃焼性能
- 生産能力の増強(2014年4月稼働開始予定)



✓ 基礎杭「EAZET™」・「ATTコラム™」・「DYNAWING™」

- 低騒音・低振動・低排土など環境重視型の杭工法
- 高い現場適応力と信頼性で建築分野、土木分野に展開



「EAZET™」

エレクトロニクスの主な製品

領域	製品	業界ポジション
電子部品	LSI	ミクスドシグナルLSIの以下の製品群で世界No.1 (TCXO*向けLSI、電子コンパス、オーディオ系デバイス)
	ホール素子(磁気センサ)	世界No.1 70%シェア
電子材料	ハイポア™(LIB用セパレータ)	世界No.1 50%シェア
	感光性ドライフィルムレジスト	世界トップ3 30%シェア
	ガラスクロス	超極薄ガラスクロス:世界No.1
	パイメル™(半導体用バッファークोट)	感光性タイプ:世界No.1
	ペリクル(フォトマスク用防塵フィルム)	世界トップ3 液晶パネル用:世界No.1
	APR™(液状感光性樹脂)、AFP™(固体状感光性樹脂)	APR™:世界No.2

* 温度補償型水晶発振器

電子部品事業の戦略

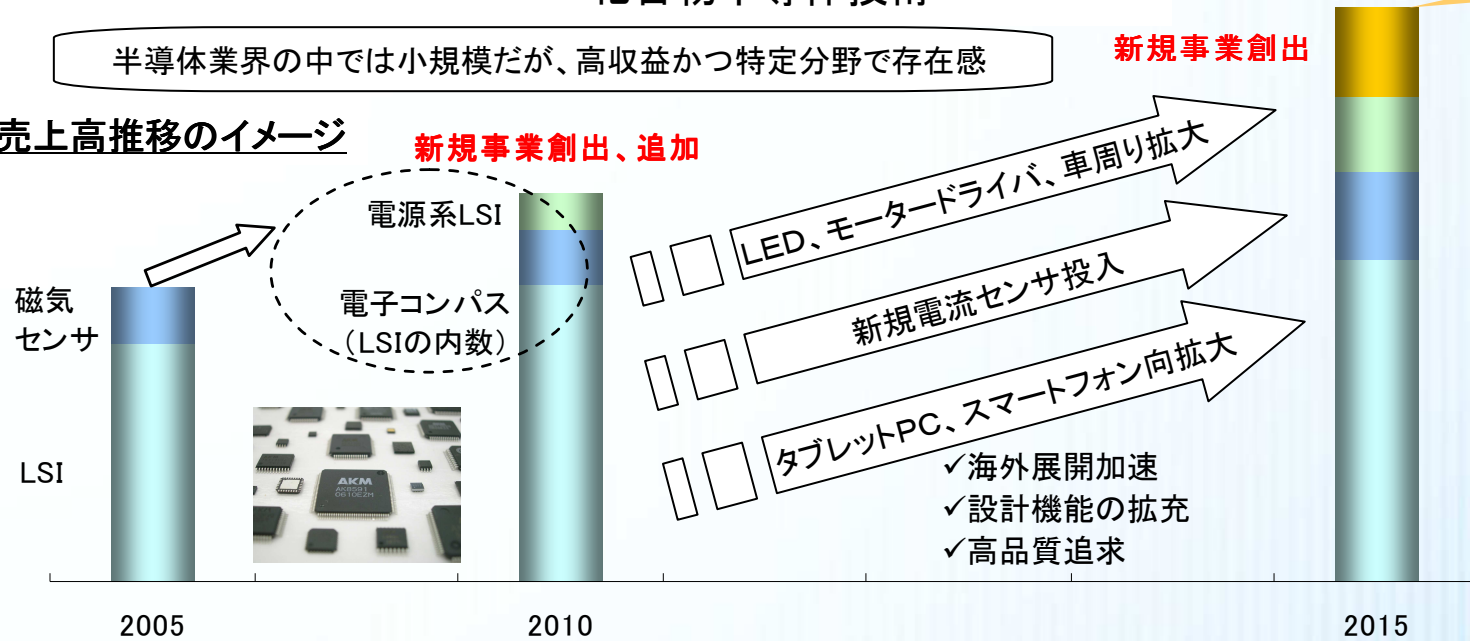
当社LSI事業の特徴

- ・アナログ信号処理
- ・磁気センサでの実績
- ・化合物半導体技術

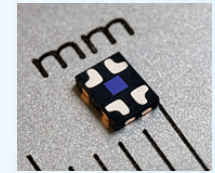
半導体業界の中では小規模だが、高収益かつ特定分野で存在感

新規事業創出

売上高推移のイメージ



赤外線センサ
センサ制御LSI
次世代通信用LSI等

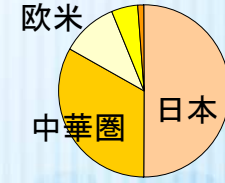
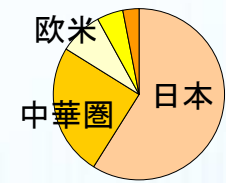


赤外線センサ
- 超小型、高速応答
(用途例)
非接触温度測定
人体検知
ガスセンサ

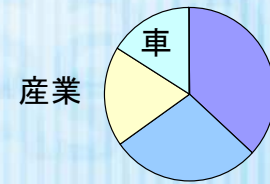
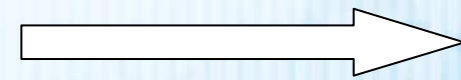
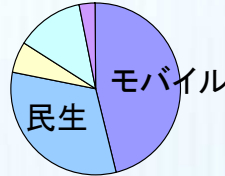


電流センサ

・海外展開の加速



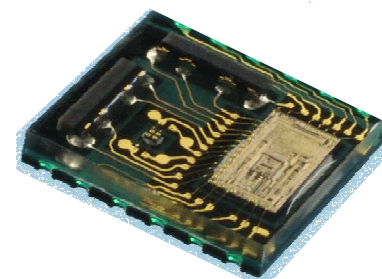
・用途
・新規事業 } の拡大



電子コンパス(方位角センサ)

✓ 世界No.1シェア

- 歩行者ナビゲーション用のキーデバイスとして世界の主要スマートフォンメーカーに採用
- 市場の立ち上がりいち早く対応し、業界標準デバイスとしての地位を確立
 - スマートフォン・タブレットPC市場の成長とともに事業規模を拡大



2004年 発売品
「AK8970」
5.9 × 6.3 × 1.0mm



2010年 発売品
「AK8975」
2.0 × 2.0 × 0.6mm

1チップ化により 体積比 1/15への
大幅な小型化を実現

✓ 当社製品の強み

- 3軸地磁気センサを半導体プロセスにより1枚のシリコン基板上に構成
 - 世界最小サイズの実現
- 地磁気測定の障害となる携帯電話内の磁気を測定し、自動的に補正を行うソフトウェアを他社に先駆けて開発、ハードウェアと一体で提供

✓ 2012年度全国発明表彰「恩賜発明賞」を受賞

- 当社の「電子コンパスの自動調整技術」がスマートフォン市場の拡大に貢献



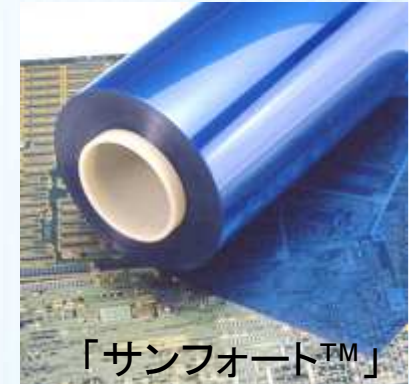
歩行者ナビ画面イメージ
(NAVITIME提供)

スマートフォンでの旭化成の電子部品使用例



✓ プリント配線板用感光性ドライフィルムレジスト「サンフォート™」

- 世界トップ3の1社、シェア30%
- 中国で2拠点目となる新工場建設を決定(2012年5月)



✓ 超極薄ガラスクロス

- 世界No.1
- 薄型電子機器用配線基板材料等に使用



✓ 半導体用バッファークोट材「パイメル™」

- 感光性タイプ: 世界No.1、アルカリ型での市場拡大

✓ フォトマスク用防じんフィルム、ペリクル

- 世界トップ3の1社、大型液晶ディスプレイ用ではほぼ独占
- 第10世代(超大型ディスプレイ)対応ライン保有



主な医薬品

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型	売上高(億円)		
					09年度	10年度	11年度
フリバス™	ナフトピジル	α1ブロッカー	前立腺肥大症に伴う排尿障害	錠剤	137	139	142
エルシトニン™注20S エルシトニン™注20S ディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤	140	134	124
リコモジュリン™	トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組 換え)	血液凝固阻止剤	DIC(汎発性血管内血液凝固 症)	注射剤	12	42	73
ブレディニン™	ミゾリビン	免疫抑制剤	関節リウマチ、 腎移植、ネフローゼ症候群、 ループス腎炎	錠剤	65	65	64
トレドミン™	ミルナシプラン塩酸 塩	セロトニン・ノルアドレ ナリン再取込阻害剤 (SNRI)	うつ病・うつ状態	錠剤	50	35	28
テリボン™	テリパラチド酢酸塩	骨形成促進剤 (副甲状腺ホルモ ン:PTH)	骨折の危険性の高い骨粗鬆 症	注射剤	—	—	22
エリル™	ファスジル塩酸塩 水和物	ローキナーゼ阻害剤	くも膜下出血術後の脳血管 れん縮及びこれに伴う脳虚 血症状の改善	注射剤	14	15	13
ファムビル™ (マルホ株に販売を委託)	ファムシクロビル	抗ヘルペスウィルス 剤	帯状疱疹	錠剤	—	—	—

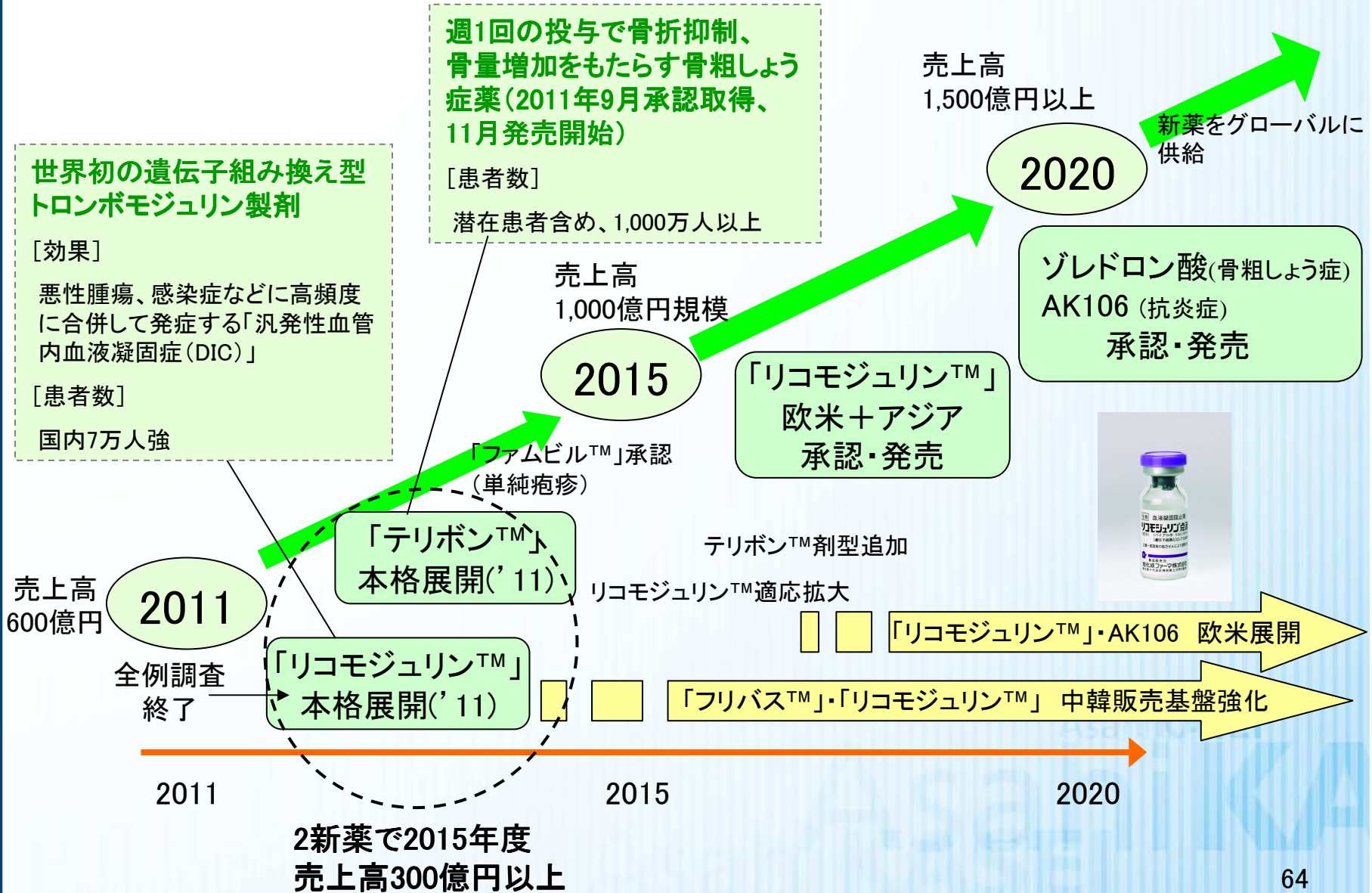
医薬品の研究開発状況

		開発コード・剤型 (一般名・「商品名」)	区 分	薬 効・分 類	適 応 症	自社/導入	備考
国 内	申請中の品目	AK-120錠 (ファムシクロビル)	適応拡大	抗ヘルペスウィルス剤	単純疱疹	導入	
	フェーズⅢの品目	AK-156注 (ゾレドロン酸水和物)	新効能・新用量 医薬品	骨吸収抑制剤 (ビスフォスフォネート)	骨粗鬆症	導入	年1回 投与
		AK-160注	新成分新薬	細菌由来の コラゲナーゼ製剤	デュピュイトラン 拘縮	導入	
	フェーズⅡの品目	AT-877錠 (ファスジル塩酸塩水和物)	適応拡大 剤型追加	ローキナーゼ阻害剤	肺高血圧症	自社	
海 外	フェーズⅡの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新成分新薬	血液凝固阻止剤	DIC(汎発性血管 内血液凝固症)を 伴う敗血症	自社	
		AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ	自社	

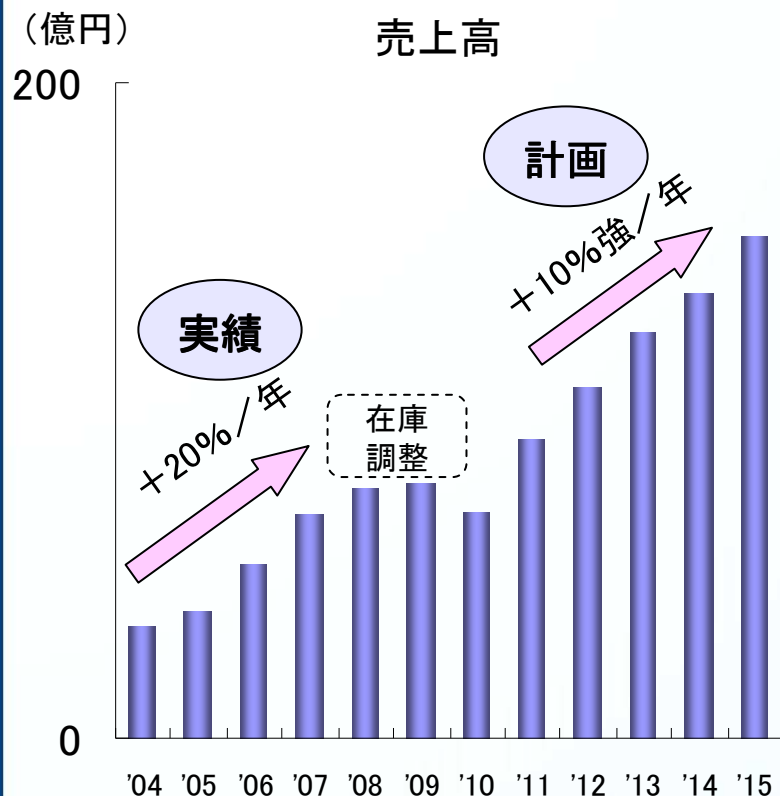
探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

医薬事業の戦略



医療事業：ウイルス除去フィルター「プラノバ™」



【バイオ医薬品・血しょう分画製剤市場】

- ・中長期的に年率10%以上で成長
- ・抗体医薬品・血しょう分画製剤用途を中心にバイオプロセス製品の世界需要は今後も拡大
- ・ウイルス除去規制強化、バイオ医薬品の後発品の普及
- ・新興市場の立ち上がり(中国、インド、南米)

メイン市場の欧米に加え、中国・アジアへの展開も強化

- ・中国 ……血しょう分画製剤市場拡大
- ・韓国、インド ……バイオ医薬品の後続品の拡大



「Planova™ BioEX」

ZOLL Medical社の除細動器事業

世界全体では3強の一角を占め、米国でのブランドを基に
グローバルな市場浸透を期待できる

世界除細動器市場は15億米ドル

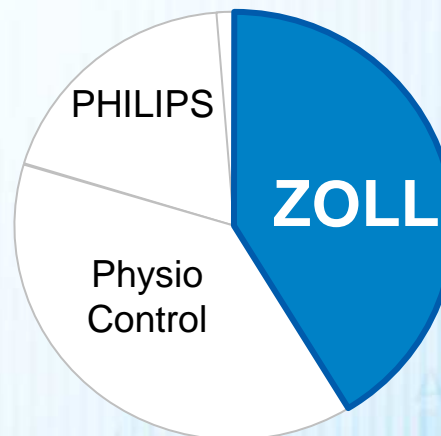
ZOLLは米国プロ向け市場で最大手ポジション

全世界の除細動器市場(金額ベース)

- ・米国市場は世界除細動器市場の3分の2を占める
- ・世界の医療技術をリードする米国で最大手



米国医療機関および救急機関の
プロ向け除細動器シェア



着用式除細動器「LifeVest™」

(2011年度売上 111百万米ドル)

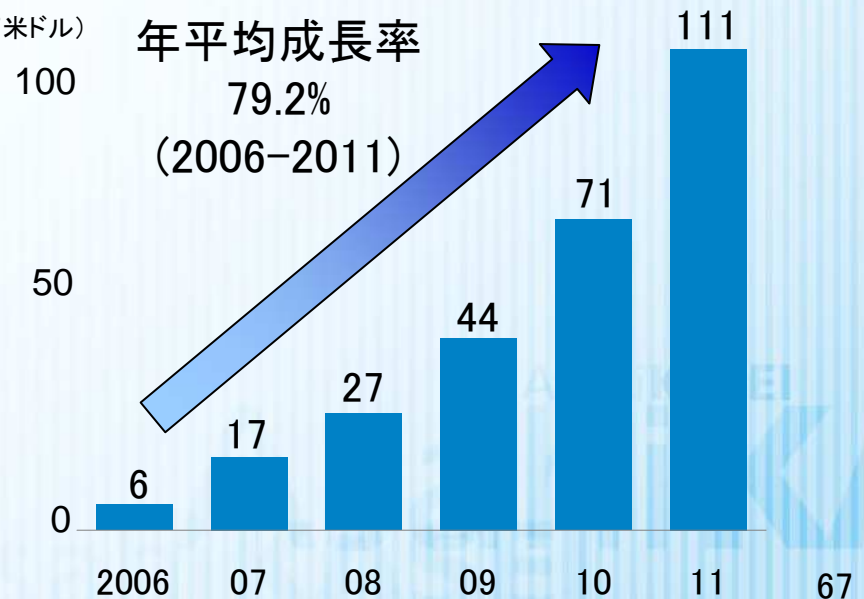
- ・のべ50,000名以上が使用
- ・着脱可能
- ・アメリカでは心停止リスクがある患者数が年間30万人以上
— 満たせていない患者ニーズには相当の余地がある
- ・また、ドイツなど欧州展開を進めている
- ・優れたサービスビジネスモデル: ZOLLが患者にLifeVestをレンタルし、医療サービスを提供、ZOLLは保険機関から保険償還を受ける(平均着用期間2ヶ月)
- ・ユニークな技術であり、薬事承認された唯一の着用式除細動器



LifeVestの売上高

(百万米ドル)

年平均成長率
79.2%
(2006-2011)



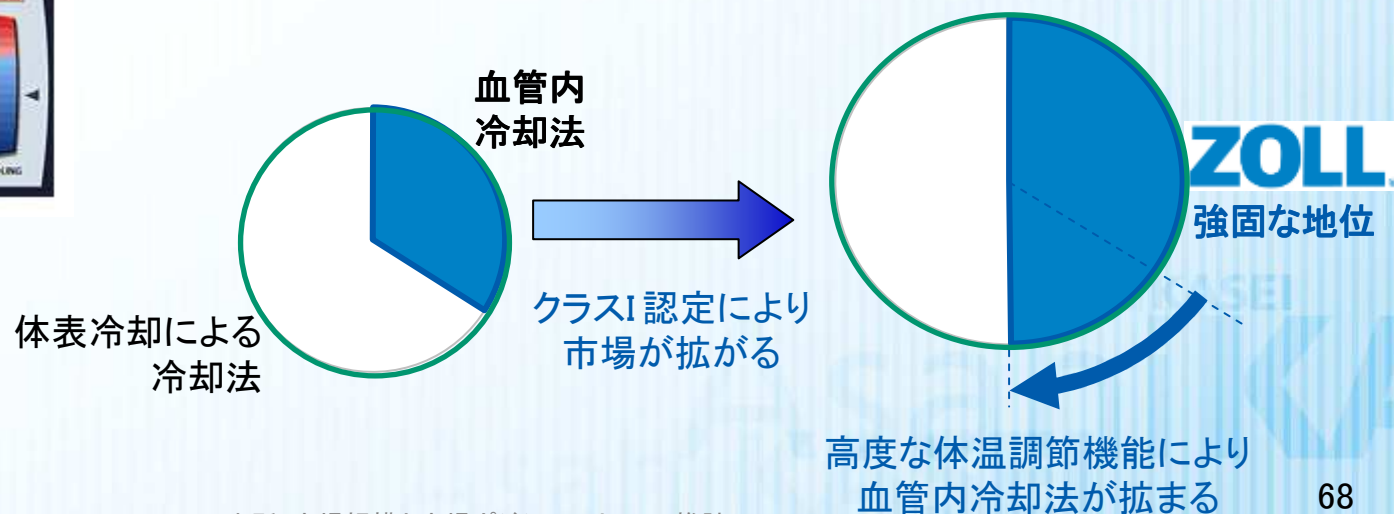
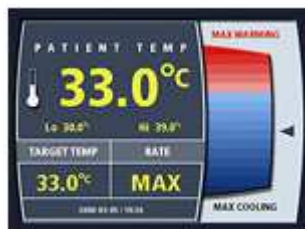
体温マネージメント機器「Thermogard™」 AsahiKASEI

(2011年度売上 26百万米ドル)



広がる市場、広がる治療法の中で強固な地位

- ・体温制御(熱中症など)や、心肺蘇生後の体温冷却に用いられる
- ・将来的には心筋梗塞後や脳梗塞後の予後治療機器としての可能性を期待
- ・広がる市場: 低体温療法がアメリカ心臓学会(AHA)ガイドラインにおいてクラスI(実効性証明済)として掲載
- ・広がる治療法: Thermogardは血管内にカテーテルを通して冷却する血管内冷却法であり、高速・高精度で体温調節可能(心肺蘇生後には必須)
- ・ZOLLは血管内冷却法でのパイオニア—非常に強固な地位



ホームページのご案内

AsahiKASEI

＜株主・投資家情報のページをご活用ください＞

AsahiKASEI 昨日まで世界になかったものを。 日本語 | English | 中文 文字サイズ 小 中 大
[品 サイトマップ](#)

企業情報 事業・製品 研究・開発 **株主・投資家情報** CSR ニュース

ホーム > 株主・投資家情報

株主・投資家情報

- ▶ 経営方針
- ▶ 財務・業績
- ▶ 個人投資家のみなさまへ
- ▶ IR資料室
- ▶ 株式・社債情報

▶ 米国ZOLL Medica社の買収について

▶ 株価情報 (東証一部:3407)

▶ IRカレンダー

よく使うIR資料

- ▶ **アニュアルレポート 2011**
旭化成グループの1年間の事業活動についてのレポートです。

株主・投資家情報

旭化成の成長戦略 [▶ 社長メッセージ\(動画\)](#)

For Tomorrow → 2015 旭化成グループ 中期経営計画 これからの社会の変化を先取りした「いのちとくらし」への貢献 [▶ 中期経営計画へ](#)

2012年3月期(第121期) 決算発表 決算説明会の模様を記録した音声・議事録をご確認いただけます。 [▶ 決算説明会へ](#)

IRニュース ▶ 一覧を見る

2012/06/08	2012年5月 ホームズ請負住宅受注速報
2012/06/05	第121期定時株主総会招集通知
2012/05/21	中期経営計画『For Tomorrow 2015』の進捗状況について 説明資料 音声配信(Windows media) テキスト版要旨
2012/05/11	2012年4月 ホームズ請負住宅受注速報
2012/05/09	2012年3月期(第121期)本決算説明会 音声配信(Windows media) テキスト版要旨
2012/05/09	決算のポイントを更新しました

<http://www.asahi-kasei.co.jp/asahi/jp/ir/>